Canon

EOS DIGITAL ソフトウェア

EOS Viewer Utility

Windows

Macintosh

対応機種

EOS 10D
EOS Kiss Digital
EOS D60
EOS D30

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。
本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマーク、ソフトウェアの使用に関する契約内容などが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいてから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
② 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③ 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。
④ このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

ソフトウェア製品使用許諾契約書について

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約にご同意いただいた場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品を使用される前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未使用のまま速やかに他の同梱の製品並びに領収書（購入を証するものを含みます。）とともにお買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。
なお、本ソフトウェア製品を使用された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾
   ① お客様は、「許諾ソフトウェア」を、一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のパソコンで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をパソコンネットワーク上の複数のパソコンで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。
   ② お客様は、再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により、第三者に「許諾ソフトウェア」を使用もしくは利用させることはできません。
   ③ お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
2. 「許諾ソフトウェア」の複製
   お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のパソコンのハードディスクなどの記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証
   キヤノンは、お客様が「許諾ソフトウェア」を購入した日から90日の間、「許諾ソフトウェア」が格納されているディスク（以下「ディスク」といいます。）に物理的な欠陥がないことを保証します。当該保証期間中に「ディスク」に物理的な欠陥が発見された場合には、キヤノンは、「ディスク」を交換いたします。
4. 保証の否認・免責
   ① 前項に定める場合を除き、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他ソフトウェア製品に関していかなる保証もいたしません。
   ② キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。
5. 輸出
   お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
6. 契約期間
   ① 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用された時点で発効します。
   ② お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
   ③ キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
   ④ 本契約は、上記②または③により終了するまで有効に存続します。上記②または③により本契約が終了した場合、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、本製品の代金をお返しいたしません。お客様は、本製品の代金の返還をキヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店に請求できません。
   ⑤ お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去した上、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。
7. 一般条項
   ① 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
   ② 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

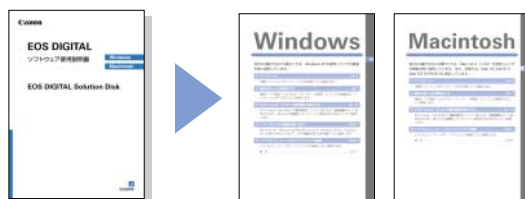
以上

キヤノン株式会社

登録商標について

- CanonおよびEOSは、キヤノン株式会社の商標です。
- Adobe、Photoshopは、アドビ システムズ社の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- IBM PC/ATシリーズは、米国International Business Machines社の商標または登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- iBookおよびiMac、QuickTimeは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintosh、FireWireは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の構成と操作説明、本文中のマークについて

- 本書はWindows章、Macintosh章の順に構成されています。

- 本書では、Windows XP Professional/Home EditionをWindows XP、Windows Millennium EditionをWindows Me、Windows 2000 ProfessionalをWindows 2000、Windows 98 Second EditionをWindows 98 SEと表記しています。
- 各OSの操作方法が共通のときは、WindowsではWindows XP、MacintoshではMac OS X（10.2）を使用したときの画面を例に説明しています。
- 本書では、EOS 10Dを使用したときの操作方法、画面を例に説明しています。各カメラ固有の機能については、必要箇所に補足説明を入れています。
- 本文中の［　］内の語句は、パソコンの画面上に表示されるボタン名称やアイコン名称などを示しています。
- 本文中の（　）内の数字は、参照ページを示しています。
- カメラの操作については、カメラに付属の使用説明書を読まれたことを前提に説明しています。
- 各ソフトウェアの制限事項については、各ソフトウェアの「Readme」、「はじめにお読みください」もあわせて参照してください。
- EOS Viewer Utilityからの画像転送には、別途レタッチソフトが必要です。また、TWAIN Driverの起動には、別途TWAIN Driver対応のソフトウェアが必要です。
  本文中に記載しているEOS Viewer Utilityから画像を転送するときの説明や、TWAIN Driver対応のソフトウェアの説明は、Adobe Photoshop 7.0を例に行っています。
- 本文中の以下のマークのついた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。

: ソフトウェアやパソコンの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

: 基本操作に加えて、知っておいていただきたい事項が書かれています。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

同梱のCD-ROMをCD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用CDプレイヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

ソフトウェアについて

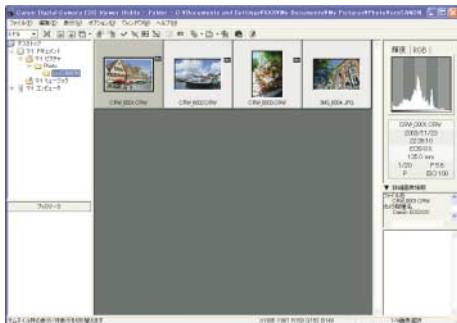
同梱されているCD-ROMに収められているソフトウェアの主な機能を紹介します。

■EOS DIGITAL Solution Disk
(イオス デジタル ソリューションディスク)

EOS Viewer Utility
(イオスビューワーユーティリティー)

Windows　Macintosh

- 画像の取り込みや表示、RAW画像の現像処理を行うことができる、EOS DIGITALカメラ専用のソフトウェアです。
- カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み、画像の一覧表示や個別画像の1枚表示、撮影情報やヒストグラムが確認できます。
- 画像の回転、プロテクト、保存、インデックス印刷、レタッチソフトへの転送ができます。
- RAW画像の表示や、各種の現像条件の設定を行うことができます。
- カラーマネージジメントシステム対応。
- sRGB、Adobe RGBの色空間に対応。

※ EOS Viewer UtilityをインストールするとEOS Capture（リモート撮影用ソフト）が一緒にインストールされます。ただし、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30では使用できません。

WIA Driver／TWAIN Driver
(ダブリューアイエードライバー トゥエイン ドライバー)

Windows

- WIA Driver、TWAIN Driverは、カメラとEOS Viewer Utilityの通信を制御するソフトウェアです。EOS Viewer Utilityを使用するには、Windows XP、Meを使用している方はWIA Driverを、Windows 2000、98 SEを使用している方はTWAIN Driverを、必ず一緒にインストールしてください。
- WIA Driverを単体で使用したときや、TWAIN DriverをTWAIN機能対応ソフトと一緒に使用したときは、JPEG画像の取り込み用ソフトとして機能します。

操作の流れ

- このほか、WIA Driver／TWAIN Driver（W-51）では、カメラから簡単にJPEG画像を取り込むことができます。

Windows

各OSの操作方法が共通のときは、Windows XPを使用したときの画面を例に説明しています。

ソフトウェア動作環境

付属のソフトウェアは、次の動作環境に対応しています。

OS（オーエス）	Windows XP（Home Edition／Professional）、 Windows Me、Windows 2000、Windows 98 SE
機種	上記の日本語版OSがプリインストールされていて、 USB接続部を標準装備したパソコン * アップグレード機は非対応
CPU（シーピーユー）	Windows XP：Pentium 300MHz以上 Windows Me、2000、98 SE：Pentium 150MHz以上
RAM（ラム）	Windows XP：256MB以上 Windows Me、2000、98 SE：128MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	EOS Viewer Utility：300MB以上 WIA Driver：25MB以上 TWAIN Driver：25MB以上
ディスプレイ	画面の解像度：1024×768ピクセル以上 画面の色：中（16ビット）以上

- Windows 98では、使用しているパソコンの環境により、正しく動作しないことがあります。Windows 98 SE以降のOSを使用してください。
- インストールには、CD-ROMドライブが必要です。

1 インストール

この章では、付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

手順通りにインストールできないときは、「トラブルシューティング」（W-58）を参照してください。

ソフトウェアをインストールする

● 使用しているパソコンが、ソフトウェア動作環境（W-2）に対応していることを確認してから、手順通りにインストールしてください。

正しいインストール手順

● ソフトウェアのインストールは、必ず以下の手順通りに行ってください。

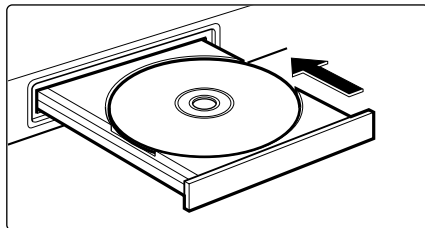
1 パソコンを起動する（手順1）
2 ソフトウェアをインストールする（手順2～9）
3 CDを取り出す（手順10）
4 カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する（W-9）

● ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを絶対に接続しないでください。インストールが正しく行われません。接続は、CDを取り出したあとに行います。
● ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続してしまったときは、「トラブルシューティング」（W-61）を参照してください。

1 パソコンを起動する

● 他のソフトウェアが起動しているときは、すべて終了します。

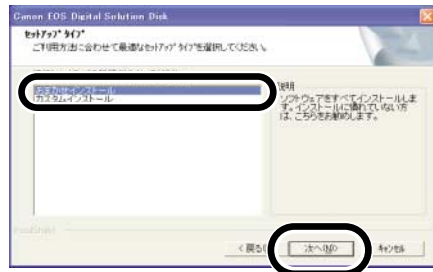
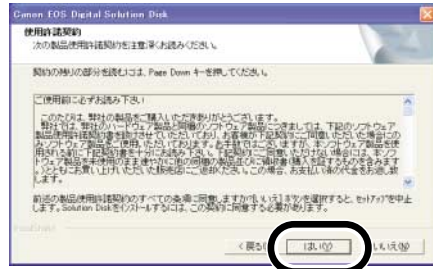
2 CD（EOS DIGITAL Solution Disk）を入れる

➡ インストーラーパネルが表示されます。

3 ［インストール］ボタンを押す

➡ **［インストールの準備をしています。］**画面が表示され、しばらくすると、**［Solution Disk InstallShieldウィザードへようこそ］**画面が表示されます。

パソコンを再起動する画面が表示されたときは、表示にしたがって再起動してください。再起動後は、自動的にインストールが続行されます。

4 ［次へ］ボタンを押す

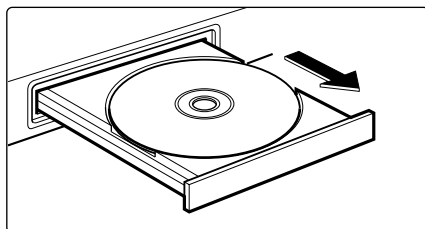
5 ［おまかせインストール］を選び、［次へ］ボタンを押す

6 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］ボタンを押す

7 インストール先とソフトウェアを確認し、［次へ］ボタンを押す

➡ インストールがはじまり、約2〜3分で終了します。

8 【完了】ボタンを押す

9 【終了】ボタンを押す

10 CDを取り出す

➡ 引き続き2章で通信モードを設定し、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了します。

手順通りにインストールできないときは、「トラブルシューティング」（W-58）を参照してください。

画像を取り込む準備をする

2

W

2

この章では、通信モードの設定、カメラやカードリーダー（市販品）とパソコンの接続方法、インストールの完了方法について説明します。

手順通りにインストールが完了できないときは、「トラブルシューティング」（W-59）を参照してください。

通信モードを設定する

Solution Diskのソフトウェアを使用して、カメラとの通信を行うには、カメラの通信モードを［標準］に設定します。

- **本ページの設定は、EOS 10D、EOS Kiss Digitalのみ必要です。**
- EOS 10Dは、ファームウェアをVersion 2.0.0以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

1 カメラとパソコンが接続されていないことを確認し、電源スイッチを〈ON〉にする

2 メニューの［通信設定］を［標準］に設定する

- EOS Kiss Digitalでは、メニュー〈ƳƬ2〉の［通信設定］を［標準］に設定します。

3 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消し、電源スイッチを〈OFF〉にする

- 通信モードを［PTP］に設定すると、Solution Diskのソフトウェアとカメラの通信はできません。ソフトウェアを使用するときは、必ず、通信モードを［標準］に設定してください。
- 通信モードを設定するときは、必ずカメラとパソコンが接続されていない状態で行ってください。カメラとパソコンを接続した状態で通信モードを設定すると、カメラやソフトウェアが誤動作します。

PTP設定について

PTP機能は、Windows XPをご使用の方のみ使うことができます。この機能を使うと簡単にJPEG画像をパソコンへ取り込むことができます。また、この機能を使うには、上記の手順2で、［通信設定］を［PTP］に設定します。

- PTP機能を使ったJPEG画像の取り込みかたについては、「Windows XPのPTP機能でJPEG画像を取り込む」（W-12）を参照してください。

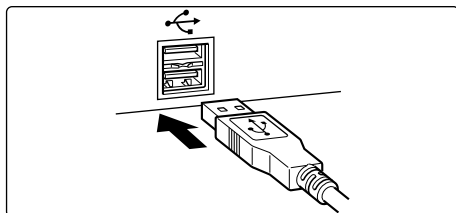
カメラとパソコンを接続する

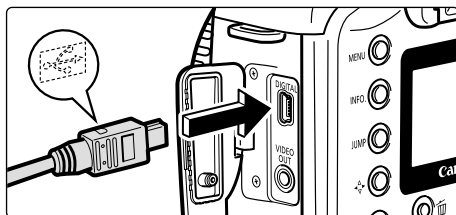
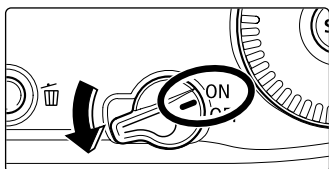
画像の取り込みやカメラを設定するときは、専用のUSB ケーブルで接続します。
接続はパソコンを起動した状態で行うことができます。

はじめてカメラとパソコンを接続する

インストールを完了するために、はじめてカメラとパソコンを接続するときは、「ソフトウェアをインストールする」（W-4）、「通信モードを設定する」（W-8）に引き続き、次の操作を行います。

1 専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する

- USB接続部にプラグを接続します。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 専用ケーブルのプラグをカメラに接続する

- カバーを開いて、プラグの〈⭠〉をカメラの前面に向け、〈**DIGITAL**〉端子部に差し込みます。
- EOS D60、EOS D30では、プラグの〈▶〉マークと、〈**DIGITAL**〉端子部の〈▶〉マークがあうように差し込みます。

3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

- ポップアップメニューが表示され、自動的に消えるとインストールが完了します。
- Windows 2000、Me、98 SEでは、何も表示されずにインストールが完了します。ただし、パソコンの環境により、**［新しいハードウェアが見つかりました］**、**［ドライバ情報データベースの作成］**などの画面が表示されたときは、それらの画面が自動的に消えるとインストールが完了します。

➡ インストールが完了すると、カメラとパソコンが通信可能な状態になります。引き続き3章へすすんでください。

- ポップアップメニューや、表示された画面が自動的に消えるまで、絶対にカメラの電源スイッチを〈OFF〉にしないでください。
- パソコンを再起動する画面が表示されたときは、必ず再起動してください。
- 手順通りにインストールを完了できないときは、「トラブルシューティング」（W-59）を参照してください。

手順3で表示されるポップアップメニューや画面は、2回目以降に接続したときには表示されません。

2回目以降にカメラとパソコンを接続する

2回目以降にカメラとパソコンを接続するときも、同様の手順で接続し、電源スイッチを〈ON〉にして、3章へすすんでください。

- カメラとパソコンを接続して、Solution Diskからインストールしたソフトウェアを起動しているときに次の操作を行うと、通信不良を起こすことがありますので、絶対に行わないでください。
  - ・カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
  - ・CFカードスロットカバーを開ける
  - ・専用ケーブルを取り外す、バッテリーを取り出す、ACアダプターキット（別売）または、DCカプラーを取り外す
  - ・ACアダプターキット（別売）または、DCカプラーのプラグや電源コードを抜く

  上記の操作を行うときは、必ず、すべてのソフトウェアを終了してから行ってください。
- カメラの液晶モニターを表示している状態では、カメラとの通信はできません。必ず、液晶モニターの表示を消してから、カメラとパソコンを接続してください。
- カメラとパソコンが通信しているときは、カメラの表示パネル内容が点滅表示になることがあります。
- 専用ケーブル以外は使用しないでください。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- ハブを介してカメラとパソコンを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 複数のUSB機器（マウス、キーボードを除く）をパソコンに接続していると、カメラが正しく動作しないことがあります。他のUSB機器をパソコンから外して、カメラのみ接続してください。
- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、パソコンとの通信ができなくなります。事前にオートパワーオフ機能を「切」に設定してください。（付属のカメラ使用説明書「メニュー機能の操作と設定」）
- 1台のパソコンにカメラを2台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 専用ケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。

- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、使用しているパソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。
  万一、パソコンがスタンバイ（スリープ）状態になってしまったときは、専用ケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ（スリープ）状態から回復してください。スタンバイ（スリープ）状態で専用ケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ（スリープ）状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ（スリープ）状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

カメラとパソコンを接続するときは、EOS 10D、EOS Kiss DigitalではACアダプターキット（別売）、EOS D60、EOS D30では付属のDCカプラーの使用をおすすめします。

カードリーダーを使う

市販のカードリーダーをお持ちの方は、メモリーカードから直接パソコンへ画像を取り込むことができます。

1 カメラからメモリーカードを取り出す

2 メモリーカードをカードリーダーに差し込む

- 引き続き3章へすすんでください。

カードリーダーとパソコンの接続方法については、カードリーダーの使用説明書を参照してください。

Windows XPのPTP機能でJPEG画像を取り込む

Windows XPをご使用の方は、PTP（Picture Transfer Protocol）機能を使うことができます。PTP機能を使うと、Solution Diskのソフトウェアを起動することなく、カメラ内のメモリーカードに保存されたJPEG画像をパソコンへ取り込むことができます。

- **この機能はEOS 10D、EOS Kiss Digitalのみ対応しています。**
- EOS 10Dは、ファームウェアをVersion 2.0.0以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

1 カメラの通信モードを［PTP］に設定する（W-8）

- メニューの **［通信設定］** を［PTP］に設定する
- EOS Kiss Digitalでは、メニュー〈🔧2〉の **［通信設定］** を［PTP］に設定します。
- 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消します。
- 終わったらカメラの電源スイッチを〈OFF〉にします。

2 カメラとパソコンを接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする（W-9）

➡［スキャナとカメラ ウィザード］が表示されます。

3 ［スキャナとカメラ ウィザード］の表示内容にしたがって画像を取り込む

- **［スキャナとカメラ ウィザード］** でJPEG画像を取り込む方法については、「スキャナとカメラ ウィザードを使う」（W-52）、手順3以降を参照してください。

3 EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

この章では、EOS Viewer Utilityを使って撮影画像をパソコンへ取り込み、画像編集を行って保存する方法や、取り込んだ画像をレタッチソフトに転送する方法などについて説明します。

EOS Viewer Utilityの制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme：［スタート］ボタン ▶ ［すべてのプログラム］（他のWindowsでは［プログラム］）▶ ［Canon Utilities］ ▶ ［EOSViewerUtility xx］（xxはバージョン）▶ ［EOSViewerUtility Readme］の順に選んで表示します。

EOS Viewer Utilityを起動する

1 **カメラとパソコンを接続する**（W-9）

➡ カメラ名が表示された画面が表示されます。

● EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。

➡ Windows Meでは、**［スキャナとカメラ ウィザード］**が表示されます。

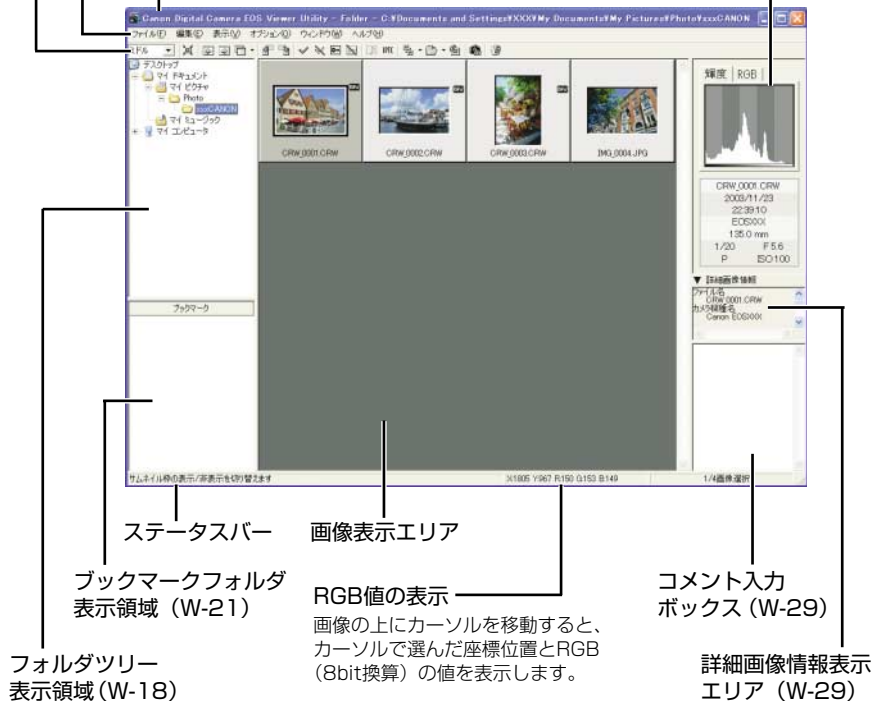
● **［キャンセル］**ボタンを押して、表示された画面すべてを終了します。

2 **［スタート］ボタン ▶ ［すべてのプログラム］**（他のWindowsでは**［プログラム］**）**▶ ［Canon Utilities］ ▶ ［EOSViewerUtility xx］ ▶ ［EOSViewerUtility］を選ぶ**

➡ メイン画面が表示されます。

● デスクトップの**［EOSViewerUtility］**アイコンをダブルクリックして起動することもできます。

● xxには、EOS Viewer Utilityのバージョンが表示されます。

メイン画面

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- EOS Viewer Utilityの終了は、**[ファイル]** メニュー ▶ **[終了]** を選びます。

EOS Viewer UtilityをインストールするとEOS Capture（リモート撮影用ソフト）が一緒にインストールされます。ただし、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30では使用できません。

メイン画面ツールバー

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

RAW調整ツールパレット

● RAW画像を選ぶと、撮影したカメラ名と設定できる現像条件が表示されます。

＊1 EOS D60のRAW画像では表示されません。

＊2 EOS D30のRAW画像では表示されません。

※ 上記のツールパレットは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

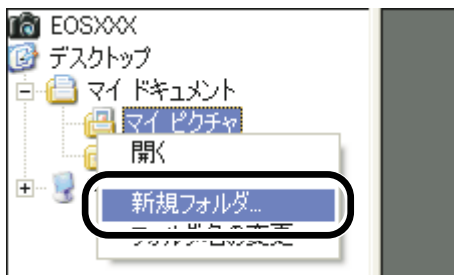
- JPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。
- カメラ内のメモリーカードに保存されているRAW画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

- 撮影時の設定は、リストボックスに太文字（ボールド）／斜体（イタリック）で表示されます。
- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**［表示］**メニュー ▶ **［ツールパレット］**を選んで表示します。

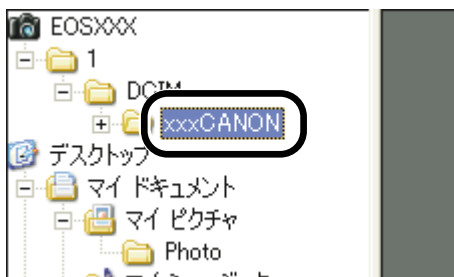
画像を取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み（コピー）、メイン画面に表示します。画像の取り込みは、フォルダツリー表示領域で行います。

1 画像を取り込むフォルダを作る

- 画像の取込先となるフォルダを右クリックし、表示されるメニューから［**新規フォルダ**］を選んで、フォルダ名を入力します。（ここでは、［**マイ ピクチャ**］フォルダに［**Photo**］フォルダを作成します）

2 コピーしたいフォルダを表示する

- カメラのアイコン ▶［**1**］フォルダ ▶［**DCIM**］フォルダの順にダブルクリックします。

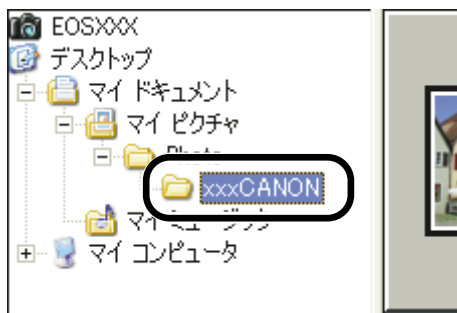
➡［**xxxCANON**］フォルダが表示されます。（xxxには100～999までの数字が表示されます）

3 フォルダをコピーする

- ［**xxxCANON**］フォルダをドラッグし、コピー先のフォルダ上でドロップします。

➡［**xxxCANON**］フォルダがパソコンに保存されます。

4 コピーしたフォルダをクリックする

➡ フォルダ内の撮影画像が表示されます。

● カメラをパソコンから取り外すときは、EOS Viewer Utilityを終了したあと、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にして、専用ケーブルを取り外します。

- カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示（W-22）、RAW画像の編集（W-31）を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。
- 市販のカードリーダーを使用して撮影画像を表示するときも、同様の手順で目的のフォルダをパソコンに取り込みます。

対応画像形式について

EOS Viewer Utilityで表示できるのは以下の画像です。

・ EOS DIGITALカメラ（1D Mark II、1Ds、1D、10D、D60、D30、Kiss Digital）で撮影したRAW画像、JPEG画像

・ EOS Viewer Utilityで保存したTIFF画像、JPEG画像（W-39）

・ DCF規格に準拠したJPEG画像

※ 表示できない画像は、［?］が表示されます。

- 撮影したあとにパソコンで加工したり、ファイル名を変更した画像は、正常に表示できないことがあります。
- カメラ内の画像を表示しているときは、カメラは使用できません。

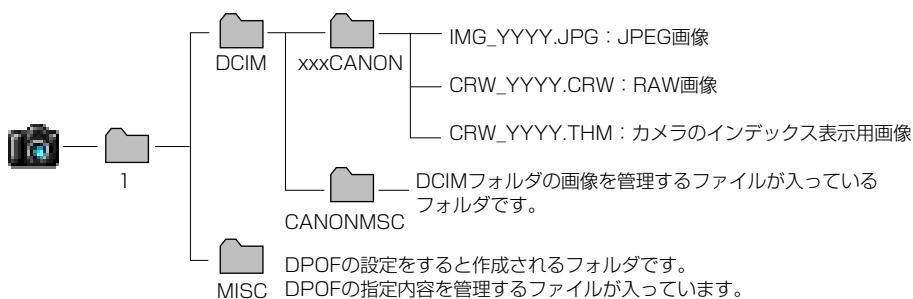
- **［縦横自動回転表示］**機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 選んだフォルダに大量の画像が保存されているときは、表示するまでに時間がかかることがあります。

フォルダ操作

フォルダを右クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを右クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ

フォルダツリー表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで他のフォルダへコピーすることができます。

メモリーカードのフォルダ構造とファイル名について

- フォルダ名のxxxには、100～999までの数字が入ります。
- ファイル名のYYYYには、0001～9999までの数字が入ります。

よく使うフォルダを登録する

よく使うフォルダをブックマークフォルダに登録することができます。

1 登録したいフォルダを表示する（W-18）

2 フォルダを登録する

- 右の図のように、登録するフォルダをドラッグ アンド ドロップします。
- ➡ 登録されると、ブックマークフォルダ表示領域にフォルダアイコンが表示されます。
- 登録を解除するときは、解除するフォルダを右クリックして、表示されるメニューから［**削除**］を選びます。

- ブックマークフォルダ表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで並び順を変更することができます。
- 登録を解除したフォルダは、ブックマークフォルダ表示領域から表示が消えるだけで、フォルダおよびフォルダ内の画像は消去されません。

画像の表示方法を選ぶ

各画面の表示内容や表示サイズを選ぶことができます。

メイン画面（サムネイル表示）

画像には各種の情報が表示されます。

プレビュー画面表示

メイン画面の画像をダブルクリックすると、画像を拡大して表示します。
RAW画像の現像条件を変更するときは、この画面にして行います。

- プレビュー画面に表示できる画像は、最大6枚までです。
- プレビュー画面は、低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。

プレビュー画面

プレビュー画面ツールバー

画像消去ボタン（W-29）

チェックマーク解除ボタン（W-26）

プロテクト解除ボタン（W-28）

IPTC情報ボタン（W-45）

左90度回転ボタン（W-28）

ファイル保存ボタン（W-39）

ウィンドウボタン（W-27）

表示サイズリストボックス（W-24）

画像転送ボタン（W-42）

画面に合わせる

画像情報表示／非表示ボタン
ヒストグラム、詳細画像情報表示エリア、コメント入力ボックスを表示／非表示にします。

1つ前の画像表示ボタン（W-25）

1つ後の画像表示ボタン（W-25）

右90度回転ボタン（W-28）

AFフレーム表示ボタン（W-24）
※このボタンは、EOS D60、EOS D30のRAW画像に対応していません。

チェックマークボタン（W-26）

音声メモ再生ボタン
※このボタンは、ご使用のカメラに対応していません。

プロテクトボタン（W-28）

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示、RAW画像の編集（W-31）を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

プレビュー画面の表示は、画像により、高解像な表示に切り換わるまで時間がかかることがあります。

表示サイズを選ぶ

リストボックスから表示サイズを選ぶ

- メイン画面では、**[スモール]**（64×42 pixels）、**[ミドル]**（100×66 pixels）、**[ラージ]**（160×106 pixels）から選びます。

メイン画面

- プレビュー画面では、**[画面に合わせる]**、**[100%]** から選びます。
- **[100%]** を選んだときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

プレビュー画面

AFフレームの確認

撮影時に使用したAFフレームを表示することができます。

- **この機能はEOS 10D、EOS Kiss Digitalの画像にのみ対応しています。**

1 画像をプレビュー画面に表示する（W-22）

2 [AFフレーム] 表示ボタンを押す

➡ AFフレームが表示されます。

- 再度ボタンを押すと非表示になります。

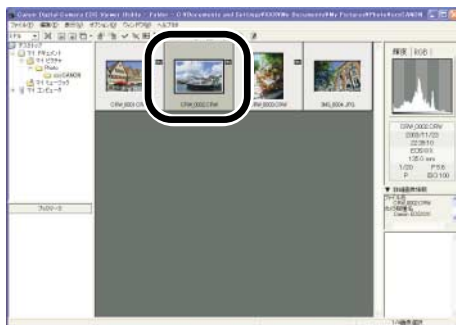
 AFフレーム自動選択で撮影したときは、ピントの合ったAFフレームが複数表示されることがあります。

画像を選ぶ

メイン画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

➡ 選んだ画像の枠に色が付きます。

- 複数の画像を選びたいときは、〈Ctrl〉キーを押したまま画像をクリックします。
- 連続した画像を選びたいときは、最初の画像をクリックしたあと、〈Shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックします。

キーボードの矢印キー（↑←→↓）を使って画像を選ぶこともできます。

プレビュー画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

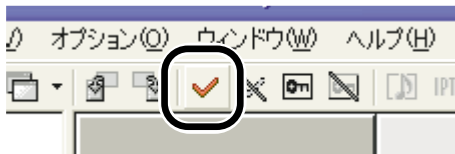
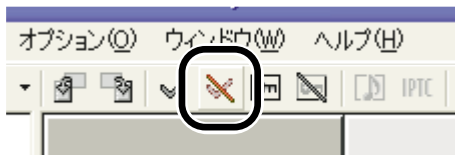
➡ 選んだ画像が最前面に表示されます。

- プレビュー画面を1枚だけ表示しているときは、**［1つ前の画像表示］**ボタンまたは、**［1つ後の画像表示］**ボタンを押して、表示する画像を選ぶこともできます。

画像にチェックマークをつける

画像を選ぶときに便利な、チェックマークをRAW画像につけることができます。

［チェックマーク］ボタンを押す

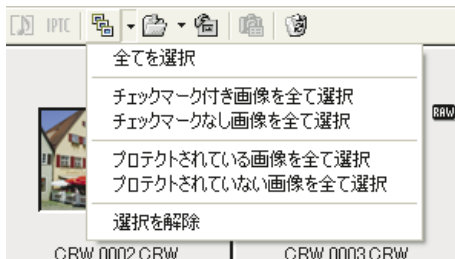
➡ チェックマークがつくと、画像の枠に［✔］が表示されます。

● ［チェックマーク解除］ボタンを押すと、画像の枠から［✔］が消え、チェックマークが解除されます。

RAW画像以外の画像には、チェックマークは設定できません。

- 複数のRAW画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像にチェックマークが設定されます。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

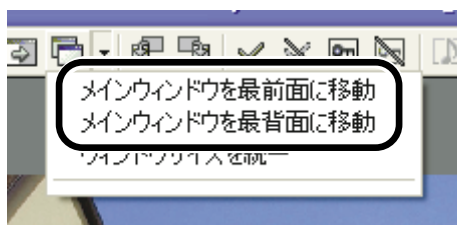
画像を条件で選ぶ

画像を条件で一度に選ぶことができます。

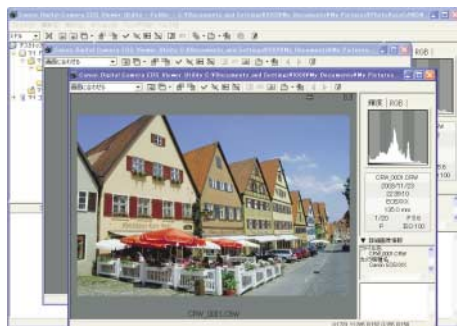
［画像選択］ボタンを押して表示されるメニューから、画像の条件を選ぶ

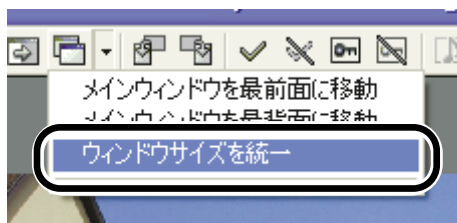
➡ 条件にあう画像が選ばれます。

メイン画面を最前面、最背面に移動する

［ウィンドウ］ボタンを押して表示されるメニューから**［メインウィンドウを最前面に移動］**または、**［メインウィンドウを最背面に移動］を選ぶ**

➡ メイン画面が最前面または、最背面に移動します。

プレビュー画面の表示サイズを統一する

複数表示されているプレビュー画面の表示サイズを統一することができます。

1 **サイズ統一の基準とする画像を選ぶ**（W-25）

2 **［ウィンドウ］ボタンを押して表示されるメニューから［ウィンドウサイズを統一］を選ぶ**

➡ プレビュー表示されているすべての画像が、同じサイズに統一されます。

画像を編集する

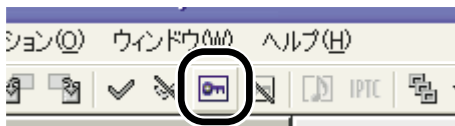
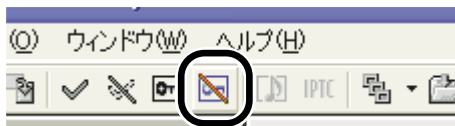
EOS Viewer Utilityで表示できるすべての画像に、各種の編集を行うことができます。

複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。

画像にプロテクトをかける

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトをかけることができます。

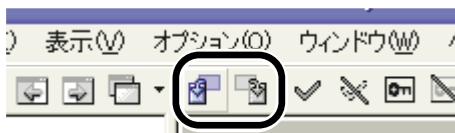
[プロテクト] ボタンを押す

➡ プロテクトがかかると、画像の枠に [🔑] が表示されます。

● [プロテクト解除] ボタンを押すと、画像の枠から [🔑] が消え、プロテクトが解除されます。

- カメラでプロテクトをかけた画像は、自動的に [🔑] が表示されます。
- プロテクトは画像の消去のみを防止する機能で、画像に対する各種操作は行うことができます。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を回転する

選んだ画像を左右90度単位で回転させることができます。

[右90度回転] ボタンまたは、[左90度回転] ボタンを押す

➡ 画像が選んだ方向に90度回転します。

- **[縦横自動回転表示]** 機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を消去する

不要な画像をパソコンのゴミ箱に移動して消去します。

1 ［画像消去］ボタンを押す

➡ 画像がゴミ箱に移動します。

2 デスクトップ上で［ゴミ箱］を右クリックし、表示されるメニューから［ゴミ箱を空にする］を選ぶ

➡ 画像が消去されます。

- 手順2で［ゴミ箱を空にする］の操作を行い、消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- 大切な画像は、誤って消去しないようにプロテクト（W-28）をかけてください。

右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像情報の確認とコメント入力

撮影画像に記録されている情報を確認したり、コメントを入力することができます。

詳細画像情報表示エリア

- 各種の撮影情報が表示されます。項目数はカメラの設定により異なります。
- テキストデータとしてコピーし、他のソフトウェアへ貼り付けることができます。
- ［▼］ボタンを押して、詳細画像情報表示エリアを非表示にすることができます。

コメント入力ボックス

半角英数字で120文字（全角60文字）まで入力することができます。
コメントを入力し、〈Enter〉キーを押します。

コメント入力ボックスでは、改行できません。

複数の画像を選んだときは、最後に選んだ画像の情報が表示されます。

画像を印刷する

撮影した画像をインデックス状に印刷することができます。

1 **インデックス印刷したい画像を選ぶ**（W-25）

2 **［ファイル］メニュー ▶［インデックス印刷］を選ぶ**

➡ 印刷が開始されます。

プリンターの設定を行うときは、**［ファイル］**メニュー ▶ **［用紙設定］**を選んでください。

RAW画像を編集する

使用目的に最適な画像にするため、RAW画像の現像条件を設定することができます。

RAW画像の現像について

RAW画像は、撮影時にカメラで設定した現像条件（現像パラメーターやホワイトバランスなど）に基づいて現像処理が行われ、パソコンに表示されます。

- RAW画像は次の操作を行ったときに現像処理が行われて表示されます。
  - ・メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき
  - ・プレビュー画面および、メイン画面で、現像条件を設定したとき
  - ・TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存したとき
  - ・設定したレタッチソフトに画像を転送したとき

  また、現像処理を行ったときは、表示するまでに時間がかかります。

- 現像時間の目安

操作内容	メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき	設定したレタッチソフトに画像を転送したとき
EOS 10D	約2秒	約30秒
EOS Kiss Digital	約2秒	約30秒
EOS D60	約3秒	約30秒
EOS D30	約2秒	約20秒

- ・**現像時間はあくまでも目安です。使用しているパソコン環境や画像により、現像時間は大きく異なります。**
- ・現像時間は、当社試験基準によります。
  （OS：Windows XP／CPU：Pentium 4 2.2GHz／RAM：256MB使用時）
- ・レタッチソフトに画像転送したときの現像時間には、レタッチソフト（Adobe Photoshop 7.0使用時）の起動時間を含んでいます。

W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示（W-22）、RAW画像の編集を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

現像条件を設定する

現像条件の設定は、RAW調整ツールパレットで行います。

- 現像条件の設定は、RAW画像に手を加えるのではなく、仮想的に現像条件を適用します。そのため、何回でも条件を変更してやりなおしたり、設定した現像条件を撮影時の状態に戻すことができます。
- リニア処理は、画像保存のときやレタッチソフトに画像を転送したときに設定できる現像条件です。（W-40、W-43）

1 RAW画像をプレビュー画面に表示する（W-22）

- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**［表示］**メニュー ▶ **［ツールパレット］**を選んで表示します。

2 現像条件を設定する（W-33～W-38）

- **［撮影時設定にリセット］**ボタンを押すと、撮影時の設定状態に戻すことができます。
- **［プレビュー］**チェックボックスをチェックしておくと、設定した現像条件がリアルタイムでRAW画像に適用されます。

3 ［更新］ボタンを押す

➡ 現像処理が行われ、設定した現像条件がRAW画像に適用されます。

4 画像を保存（W-39）、転送（W-42）する

EOS Viewer Utilityで設定した現像条件は、EOS Viewer Utilityを終了するとすべてキャンセルされ、撮影時の現像条件に戻ります。現像条件を設定したRAW画像は、TIFF画像、JPEG画像に変換して保存（W-39）するか、レタッチソフトに転送（W-42）してから保存してください。

- メイン画面で複数の画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像に、設定した現像条件が適用されます。
- メイン画面で現像条件の設定を行うと、**［プレビュー］**チェックボックスをチェックしていなくても、設定した現像条件がリアルタイムで画像に適用されます。

明るさを調整する（デジタル露出補正）

画像の明るさを0.1段ステップ、±2段相当の範囲で調整することができます。

- **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60のRAW画像にのみ対応しています。**

スライダーを左右にドラッグして調整する

➡ 調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

ホワイトバランスを調整する

画像のホワイトバランスを調整することができます。

ホワイトバランスを選ぶ

撮影したときの光源にもっとも近いホワイトバランスを選びます。

リストボックスからホワイトバランスを選ぶ

- EOS D60、EOS D30のRAW画像では［日陰］［色温度指定］は表示されません。

ホワイトバランス	内　容	色温度 K（ケルビン）
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約3000～7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約5200＊
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約6000
色温度指定	ホワイトバランスの色温度を2800～10000K（100Kステップ）の範囲で直接設定することができます。（W-35）	約2800～10000

＊ EOS D30のRAW画像では、約5500です。

➡ 選んだホワイトバランスが、RAW調整ツールパレットに設定されます。

色温度を設定する

色温度を設定し、ホワイトバランスを調整することができます。

● **この機能はEOS 10D、EOS Kiss DigitalのRAW画像にのみ対応しています。**

1 リストボックスから［色温度指定］を選ぶ

2 色温度を入力する

● **［色温度］**入力ボックスに、2800K～10000Kまで（100Kステップ）の色温度を入力します。

➡ 入力した色温度が、RAW調整ツールパレットに設定されます。

クリックホワイトバランス

画像の白い部分を1か所選ぶと、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 ［クリックホワイトバランス］ボタンを押す

➡ 画像の上にカーソルを移動すると、［ ］が［ ］に変わります。

2 画像の白い部分をクリックする

➡ 選んだ部分が白くなるように調整されます。

- クリックホワイトバランスは、**［プレビュー］**チェックボックスをチェックしていなくても、操作内容がリアルタイムで画像に適用されます。
- クリックホワイトバランスを使用すると、**［ホワイトバランス］**リストボックスには**［白点指定］**が表示されます。

コントラストを選ぶ

画像の明暗差を強調するコントラストを調整することができます。

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

● EOS D60、EOS D30のRAW画像では、［やや弱く］、［やや強く］は表示されません。

色の濃さを選ぶ

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

● EOS D60、EOS D30のRAW画像では、［やや薄く］、［やや濃く］は表示されません。

色あいを調整する

● **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60のRAW画像にのみ対応しています。**

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

● マイナス側に設定すると赤寄りに、プラス側に設定すると黄色寄りの色になります。

● EOS D60のRAW画像では、［–2］、［+2］は表示されません。

色空間を設定する

撮影した画像の色空間を設定することができます。

● **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss DigitalのRAW画像にのみ対応しています。**

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

 ICCプロファイルを付加することができます。

シャープネスを選ぶ

画像の輪郭を強調するシャープネスを調整することができます。

リストボックスから調整値を選ぶ

● 数値が大きくなるほどシャープネスは強く調整されます。

● EOS D60のRAW画像では、**［やや弱く］**、**［やや強く］** は表示されません。

● EOS D30のRAW画像では、**［切］**、**［やや弱く］**、**［やや強く］** は表示されません。

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

画像を保存する

RAW画像をTIFF画像やJPEG画像に変換して保存したり、JPEG画像を別名で保存することができます。また、RAW画像をTIFF画像に変換して保存したときは、設定した色空間情報（W-38）が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。
ICC（アイシーシー）とは、International Color Consortium（国際照明委員会）の略です。

1 保存したい画像を選ぶ（W-25）

2 ［ファイル保存］ボタンを押して表示されるメニューから［ファイル変換・保存］を選ぶ

➡［ファイル保存］画面が表示されます。

3 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➡ 選んだフォルダに画像が保存されます。

設定内容を適用して画像を保存します。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し、［ファイル保存］画面を閉じます。

RAW画像を変換して保存したTIFF画像には、自動的にICCプロファイルが付加されます。ICCプロファイルを付加した画像をレタッチソフトで表示するときは、より正確な色を表示できるICCプロファイル対応のソフトウェアをおすすめします。

選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。

画像の保存先となるフォルダを指定することができます。

[以下の指定フォルダに保存] ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。**[参照]** ボタンの横には、保存先のフォルダ名が表示されます。

リストボックスで、**[JPEG]** を選んだときの **[画質]**（圧縮率）を **[4（最高画質）]** ～ **[1（やや高圧縮率）]** から選びます。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像になります。

※この機能は、ご使用のカメラに対応していません。

保存するときの出力解像度を10～2000 pixels／inchの範囲で設定します。

保存する画像にRAW画像が含まれているときの、画像の変換形式を **[変換しない]**、**[JPEG]**、**[TIFF]** から選びます。**[TIFF]** を選んだときは、保存するときのbit数を **[8bit／ch]**、**[16bit／ch]**、**[16bit／ch リニア]** をから選ぶことができます。また、**[JPEG]** を選んだときは、**[8bit／ch]** で保存されます。
保存後の拡張子は、次のようになります。

変換形式	拡張子
変換しない	.CRW
JPEG形式（8bit／ch）	.JPG
TIFF形式（8bit／ch）	.TIF
TIFF形式（16bit／ch、16bit／chリニア）	.TIF

チェックすると画像の名称を変更しないで保存します。

ファイルに付ける番号の桁数と開始番号を入力します。桁数は最大9桁まで設定できます。

ファイル番号の前に付けるファイル名です。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある［例］の部分に例が表示されます。

※この機能は、ご使用のカメラに対応していません。

RAW画像をJPEG画像、またはTIFF画像に変換して保存するときにチェックすると、ファイル名の最後に以下の文字が付きます。

変換形式	ファイル名
JPEG	RJ
TIFF（8bit／ch）	RT8
TIFF（16bit／ch、16bit／chリニア）	RT16、RT16L

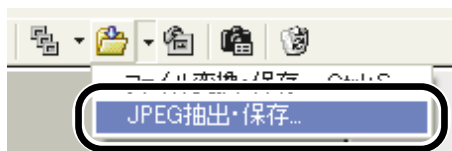
右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

RAW画像からJPEG画像を抽出する

- RAW画像に同時記録されたJPEG画像を抽出／保存することができます。
- **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss DigitalのRAW画像にのみ対応しています。**
- EOS Kiss Digitalは、Middle／FineのJEPG画像が同時記録され、EOS 10Dはカメラで設定したJPEG画像が同時記録されます。
- 設定できる内容は、「画像を保存する」（W-39）の「保存フォルダ」、「ファイル名」と同じ内容です。

1 JPEG画像を抽出したいRAW画像を選ぶ（W-25）

2 ［ファイル保存］ボタンを押して表示されるメニューから［JPEG抽出・保存］を選ぶ

➡ ［JPEG抽出・保存］画面が表示されます。

3 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

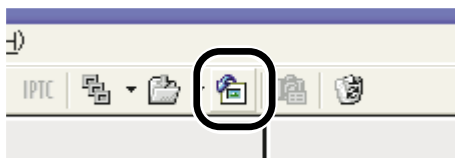
➡ 選んだフォルダにJPEG画像が保存されます。

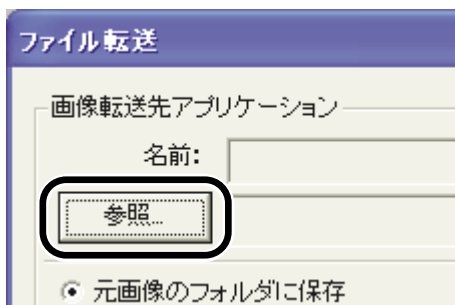
レタッチソフトに画像を送る

EOS Viewer Utilityに表示されている画像をレタッチソフトへ転送することができます。
ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

- 画像転送を行うには、Adobe Photoshopなど市販のレタッチソフトが必要です。
- 画像の転送をする前に必ず画像転送の設定を行ってください。

1 ［画像転送］ボタンを押す

➡ ［ファイル転送］画面が表示されます。

2 ［参照］ボタンを押す

➡ ［ファイルを開く］画面が表示されます。

3 画像を転送するレタッチソフト（Photoshop 7.0）を選ぶ

- ［C：］ドライブ ▶ ［Program Files］ ▶ ［Adobe］ ▶ ［Photoshop 7.0］ ▶ ［Photoshop］の順に選び、［開く］ボタンを押します。

➡ Photoshopが設定され、画面を閉じます。

4 ラジオボタンを選び、転送する画像を保存するフォルダを設定する

転送する画像を同じフォルダに、新たな画像として保存します。 — 元画像のフォルダに保存

［参照］ボタンを押して、転送する画像を保存するフォルダを指定します。 — 以下の指定フォルダに保存

参照...

5 ［出力設定］項目、［ファイル名］項目を設定し、［OK］ボタンを押す

- ［出力設定］、［ファイル名］の設定方法については、「画像を保存する」（W-39）を参照してください。
- ➡ Photoshopが起動し、転送した画像が表示されます。
- ➡ 転送した画像は、手順4で設定したフォルダに保存されます。

- 画像転送機能に設定するレタッチソフト（市販品）は、16bit画像に対応したレタッチソフトの使用をおすすめします。
- RAW画像をTIFF画像に変換して転送したときは、設定した色空間情報（W-38）が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

環境設定

EOS Viewer Utilityの各種設定を行うことができます。

1 ［ファイル］メニュー ▶ ［環境設定］を選ぶ

➡ ［環境設定］画面が表示されます。

2 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➡ 設定内容が適用され、［環境設定］画面が閉じます。

IPTC情報設定

IPTC（アイピーティーシー）とは、International Press Telecommunications Council（国際新聞電気通信評議会）の略で、新聞／通信社が、画像の転送を円滑に行うために定めた、画像に付加する報道用情報交換タグの規格です。
このIPTC情報をJPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像に付加することができます。また、入力したIPTC情報をパソコンに保存し、他の画像に読み込んで適用することができます。

1 JPEG画像または、TIFF画像を選ぶ （W-25）

2 ［IPTC情報］ボタンを押す

➡ ［IPTC情報］画面が表示されます。

3 情報を入力する （W-46、W-47）

- ［IPTC-1］～［IPTC-3］タブを選んでタブ画面を表示し、情報を入力します。
- ［名前を付けて保存］ボタンを押して表示される画面で、入力したIPTC情報を保存することができます。
- ［読み込み］ボタンを押して表示される画面で、保存したIPTC情報を読み込むことができます。

4 ［保存］ボタンを押す

➡ 設定したIPTC情報が画像に適用されます。

5 ［OK］ボタンを押す

➡ ［IPTC情報］画面が閉じます。

パソコンに保存したIPTC情報設定データは、Windows／Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

[IPTC-1]タブ画面設定項目

[IPTC-2] タブ画面設定項目

[IPTC-3] タブ画面設定項目

カメラ設定

所有者名や日付／時刻などをカメラに設定することができます。

1 カメラとパソコンを接続する（W-9）

➡ カメラ名が表示された画面が表示されます。

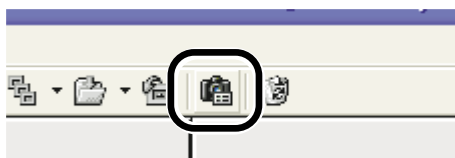
● EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。

➡ Windows Meでは、**［スキャナとカメラ ウィザード］**が表示されます。

● **［キャンセル］**ボタンを押して、表示された画面すべてを終了します。

2 EOS Viewer Utilityを起動する（W-14）

3 ［カメラ設定］ボタンを押す

➡ **［カメラ設定］**画面が表示されます。

4 設定をする

- EOS D30では、**[現像パラメーター]** ボタンが表示されます。**[現像パラメーター]** については、カメラに付属のソフトウェア使用説明書を参照してください。

5 [OK] ボタンを押す

➡ 設定内容がカメラに適用され、**[カメラ設定]** 画面を閉じます。

W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

4 ドライバでJPEG画像を取り込む

この章では、Windows XP、Windows Me用のWIA Driverや、Windows 2000、Windows 98 SE用のTWAIN Driverで、JPEG画像を取り込む手順について説明します。

WIA Driverには、いくつかの制限事項があります。WIA Driverを使用する前に、必ず「WIA Driver Readme」を参照してください。

Readme：**［スタート］**ボタン ▶ **［すべてのプログラム］**（Windows Meでは**［プログラム］**）▶ **［Canon Utilities］** ▶ **［EOS XXX WIA Driver］** ▶ **［WIA Driver Readme］**の順に選んで表示します。

TWAIN Driverの制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme：**［スタート］**ボタン ▶ **［プログラム］** ▶ **［Canon Utilities］**▶ **［EOS XXX TWAIN Driver］** ▶ **［TWAIN Driver Readme］**の順に選んで表示します。

ヘルプ：TWAIN Driverメイン画面の**［ヘルプ］**ボタンから表示します。

EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。

WIA Driverで画像を取り込む

スキャナとカメラ ウィザードやエクスプローラー、WIA TWAINを使ってJPEG画像を取り込むことができます。また、Windows XPをご使用の方は、PTP機能を使ったときも同様の手順でJPEG画像を取り込むことができます。

- **RAW画像の取り込みは、3章を参照してください。**
- 操作画面に表示されるカメラ名はEOS XXXとしています。

スキャナとカメラ ウィザードを使う

画面にしたがって操作すると、JPEG画像をパソコンに取り込むことができます。

1 カメラとパソコンを接続する（W-9）

➡ カメラ名が表示された画面が表示されます。

➡ Windows Meでは、**［スキャナとカメラ ウィザード］**が表示されます。手順3へすすみます。

2 ［Microsoft スキャナとカメラのウィザード］を選び、［OK］ボタンを押す

➡ **［スキャナとカメラ ウィザード］**が表示されます。

3 ［次へ］ボタンを押す

➡ **［コピーする画像の選択］**画面が表示されます。

➡ Windows Meでは、**［画像の選択］**画面が表示されます。

4 取り込みたい画像を選び、［次へ］ボタンを押す

- 複数の画像を選ぶときは、〈Ctrl〉キーまたは、〈Shift〉キーを押しながら画像をクリックします。すべての画像を選ぶときは、**［すべて選択］**ボタンを押します。
- ➡ **［画像の名前とコピー先］**画面が表示されます。
- ➡ Windows Meでは、**［画像の保存先］**画面が表示されます。

5 保存先を選び、ファイル名を入力して［次へ］ボタンを押す

- ➡ 画像が取り込まれ、**［そのほかのオプション］**画面が表示されます。
- 保存先を指定しないときは、**［マイピクチャ］**にフォルダが作成されて保存されます。
- Windows Meでは、保存先を選び、ファイル名を入力して、**［完了］**ボタンを押します。画像が保存され、スキャナとカメラ ウィザードが終了します。

6 ［作業を終了する］ラジオボタンを選び、［次へ］ボタンを押す

- ➡ **［完了］**画面が表示されます。

7 ［完了］ボタンを押す

- ➡ 画像が保存され、スキャナとカメラ ウィザードが終了します。

W

4

ドライバでJPEG画像を取り込む

エクスプローラーを使う

ドラッグ アンド ドロップで、JPEG画像をパソコンに取り込むことができます。

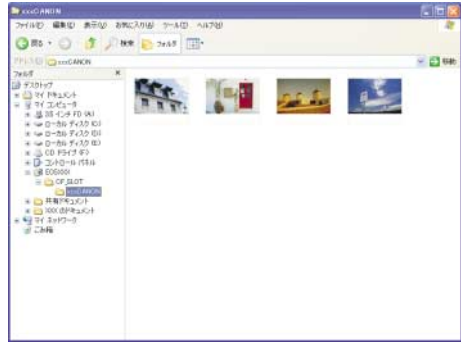
1 カメラとパソコンを接続する（W-9）

➡ カメラ名が表示された画面や、**［スキャナとカメラ ウィザード］**が表示されます。

- **［キャンセル］**ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 エクスプローラーを起動してフォルダを選ぶ

- エクスプローラーの起動は、**［スタート］**ボタンを右クリックして、表示されるメニューから**［エクスプローラ］**を選びます。
- エクスプローラービューで接続したカメラのアイコンをダブルクリックして表示される［xxxCANON］フォルダをクリック（Windows Meでは、ダブルクリック）します。（xxxには100～999までの数字が表示されます）
- EOS D60、EOS D30では、カメラアイコンをクリックします。

➡ カメラ内の画像がサムネイル表示されます。

3 画像を保存する

- エクスプローラービューのフォルダに画像をドラッグ アンド ドロップします。

➡ 画像が保存されます。

エクスプローラーでカメラ内の画像を表示しているときにリモート撮影すると、正しく動作しないことがあります。

WIA TWAINを使う

TWAIN機能対応のレタッチソフトを使用して、JPEG画像をレタッチソフトに取り込むことができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

1 カメラとパソコンを接続する（W-9）

➡ カメラ名が表示された画面や、**[スキャナとカメラ ウィザード]** が表示されます。

● **[キャンセル]** ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Photoshopを起動する

● **[スタート]** ボタン ▶ **[すべてのプログラム]**（Windows Meでは **[プログラム]**）▶ **[Adobe Photoshop 7.0]** を選びます。

➡ Photoshopが起動します。

3 [ファイル] メニュー ▶ [読み込み] ▶ [WIA-EOSXXX] を選ぶ

➡ **[EOSXXXから画像を取得]** 画面が表示されます。

4 取り込みたい画像を選び、[画像の取得] ボタンを押す

➡ 選んだ画像がPhotoshopに取り込まれます。

レタッチソフトにより、起動方法や画面内容は異なります。詳しくは、使用しているレタッチソフトに付属されている使用説明書を参照してください。

TWAIN Driverで画像を取り込む

TWAIN機能対応のレタッチソフトを使用して、JPEG画像をレタッチソフトに取り込むことができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

- **RAW画像の取り込みは、3章を参照してください。**
- 操作画面に表示されるカメラ名はEOS XXXとしています。
- EOS D60、EOS D30のTWAIN Driverについては、カメラに付属のソフトウェア使用説明書を参照してください。

1 カメラとパソコンを接続する（W-9）

➡ カメラ名が表示された画面が表示されます。

- **［キャンセル］**ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Photoshopを起動する

- **［スタート］**ボタン ▶ **［プログラム］** ▶ **［Adobe Photoshop 7.0］**を選びます。

➡ Photoshopが起動します。

3 ［ファイル］メニュー ▶ ［読み込み］ ▶ ［Canon EOSXXX］を選ぶ

➡ TWAIN Driverが起動し、カメラ内のJPEG画像が表示されます。

- TWAIN Driverの終了は、**［ファイル］**メニュー ▶ **［終了］**を選びます。

4 転送する画像を選び、［ファイル］メニュー ▶ ［画像転送］を選ぶ

➡ Photoshopに転送した画像が表示されます。

- サムネイル画像をダブルクリックしても、画像を転送することができます。
- レタッチソフトにより、起動方法や画面内容は異なります。詳しくは、レタッチソフトの使用説明書を参照してください。

5 トラブルシューティングとソフトウェアの削除

この章では、トラブルシューティングや、ソフトウェアの削除について説明します。

トラブルシューティング

「手順通りにインストールできない」、「カメラとパソコンが通信できない」というときは、以下の項目を確認してください。

● 操作画面に表示されるカメラ名はEOS XXXとしています。

手順通りにインストールできない

● Windows XP Professional、Windows 2000で、**ユーザー設定を［コンピューターの管理者］、［Administrator］以外に設定してパソコンを使用していませんか？**

→ ユーザー設定を**［コンピューターの管理者］**、**［Administrator］**以外に設定していると、ソフトウェアをインストールすることができません。ユーザー設定をWindows XP Professionalでは**［コンピューターの管理者］**、Windows 2000では**［Administrator］**に設定してください。詳しい設定方法は、使用しているパソコンの使用説明書などを参照してください。

● プラグはしっかりと差し込まれていますか？

→ インストールを完了させるために、カメラとパソコンを接続するときは、専用ケーブルのプラグをカメラとパソコンにしっかりと差し込んでください。（W-9）

● カメラとパソコンが通信できる状態になっていますか？

→ カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。

→ カメラの電源スイッチが〈ON〉になっていても、オートパワーオフが働くと、自動的に電源が切れます。オートパワーオフを「切」にしてください。（付属のカメラ使用説明書「メニュー機能の操作と設定」）

● インストール中に**［新しいハードウェアの追加ウィザード］**（Windows 2000では**［新しいハードウェアの検出ウィザード］**）**画面が表示されていませんか？**

→ **［キャンセル］**ボタンを押して専用ケーブルを取り外し、インストールをやりなおしてください。

● インストーラーパネルが表示されない？

→ 次の手順でインストーラーパネルを表示してください。

［スタート］ボタン ▶ **［マイ コンピュータ］**をクリック（他のWindowsでは、デスクトップの**［マイ コンピュータ］**をダブルクリック）▶ CDを入れたCD-ROMドライブを右クリック ▶ 表示されるメニューから**［開く］**を選ぶ ▶ 右のアイコンをダブルクリックする

SETUP

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとパソコンが通信できない

● ドライバはインストールされていますか？

→ カメラとパソコンの通信にはドライバが必要です。カメラとパソコンの通信を行うときは、使用しているWindowsにより以下のドライバを必ずインストールしてください。

・Windows XP／Windows Me：WIA Driver
・Windows 2000／Windows 98 SE：TWAIN Driver

● WIA Driverまたは、TWAIN Driverのインストールを完了していますか？

→ WIA Driverまたは、TWAIN Driverがインストールされていても、カメラとパソコンを接続しないとインストールは完了しません。Solution Disk をCD-ROMドライブに入れて、WIA Driverまたは、TWAIN Driverをインストールしたあと、カメラとパソコンを接続してください。

● 使用しているパソコンは、以下に該当していますか？

→ USB接続部を装備したWindows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98 SEの日本語版プリインストール機。（W-2）

※上記以外のパソコンでUSB接続を行ったときの動作保証はしていません。

● カメラとパソコンが正しく接続されていますか？

→ 専用ケーブルで、カメラとパソコンを正しく接続してください。（W-9）

● カメラの通信設定は、正しく設定されていますか？

→ EOS 10D、EOS Kiss Digitalをお使いのときは、カメラの通信設定を［**標準**］に設定してください。（W-8）また、EOS 10Dは、ファームウェアをVersion 2.0.0以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

● カメラのバッテリー残量は十分ですか？

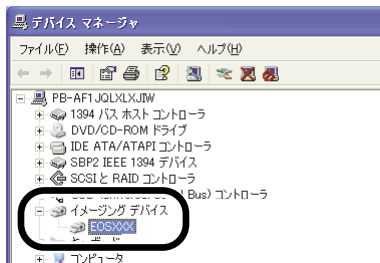
→ パソコンからカメラへの電源供給は行われません。カメラに、EOS 10D、EOS Kiss DigitalではACアダプターキット（別売）、EOS D60、EOS D30では付属のDCカプラーを接続するか、充電済みのバッテリーを入れて、カメラとパソコンを接続してください。

● 2台以上のカメラをパソコンに接続していませんか？

1台のパソコンに2台以上のカメラを接続すると、ドライバおよびカメラが正しく動作しないことがあります。

→ ソフトウェアを終了してすべての専用ケーブルをパソコンから取り外します。そのあと、1台のカメラだけをパソコンに再度接続してください。

● ドライバは正常に動作していますか？

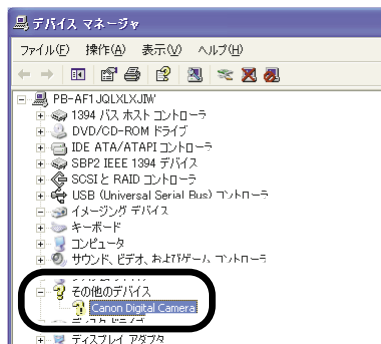
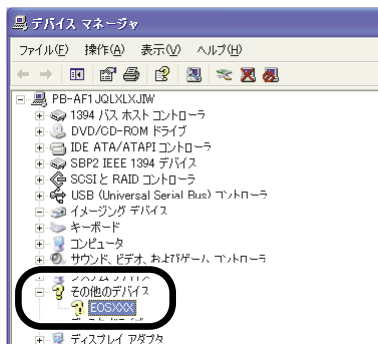
カメラとパソコンを専用ケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉（W-9）にして、**［デバイス マネージャ］**を表示（W-61）します。**［イメージング デバイス］**の左にある［+］を押し、接続しているカメラが表示されているか確認します。

→ 接続しているカメラが表示されていないときは、ドライバが正しく動作していません。専用ケーブルをいったん取り外して、しっかりと差し込んでください。それでも接続しているカメラが表示されないときは、次の手順でドライバをインストールしなおしてください。

1 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する（W-63）
2 ドライバをインストールする（W-4）

→ 接続しているカメラの横に［X］［!］［?］マークが付いているときは、ドライバの一部が削除されているか壊れています。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。

1 **［イメージング デバイス］**に表示されているカメラを削除する
2 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する（W-63）
3 ドライバをインストールする（W-4）

● ドライバは正しくインストールされていますか？

カメラとパソコンを専用ケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉（W-9）にして、**［デバイス マネージャ］**を表示（W-61）します。**［その他のデバイス］**か**［不明なデバイス］**の左にある［+］を押し、接続しているカメラ、または**［Canon Digital Camera］**が表示されているか確認します。

→ **［その他のデバイス］**か**［不明なデバイス］**に接続しているカメラ、または**［Canon Digital Camera］**が表示されているときは、ドライバが正しくインストールされていません。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。

1 **［その他のデバイス］**か**［不明なデバイス］**に表示されているカメラ、または**［Canon Digital Camera］**を削除する
2 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する（W-63）
3 ドライバをインストールする（W-4）

ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続してしまった

● カメラの電源スイッチを〈ON〉にしましたか？

→〈ON〉にしてないときは、次の操作を行ってください。

1 専用ケーブルをカメラとパソコンから取り外す
2 手順通りパソコンにSolution Diskのソフトウェアをインストール（W-4）し、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する（W-9）

→〈ON〉にしてしまったときは、次の操作を行ってください。

1 **［新しいハードウェアの検出ウィザード］**などが表示されたときは、**［キャンセル］**ボタンを押して表示された画面をすべてキャンセルする
2 カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
3 専用ケーブルをカメラとパソコンから取り外す
4 手順通りパソコンにSolution Diskのソフトウェアをインストール（W-4）し、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する（W-9）

デバイス マネージャを表示するには

● Windows XP

→ **［スタート］**ボタン ▶ **［コントロール パネル］**を選び、**［パフォーマンスとメンテナンス］** ▶ **［システム］**の順にクリックし、**［ハードウェア］**タブを選んで、**［デバイス マネージャ］**ボタンを押します。

● Windows 2000

→ **［スタート］**ボタン ▶ **［設定］** ▶ **［コントロール パネル］**を選び、**［システム］**アイコンをダブルクリックして開き、**［ハードウェア］**タブを選んで、**［デバイス マネージャ］**ボタンを押します。

● Windows Me、Windows 98 SE

→ **［スタート］**ボタン ▶ **［設定］** ▶ **［コントロール パネル］**を選び、**［システム］**アイコンをダブルクリックして開き、**［デバイス マネージャ］**タブを選びます。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用ケーブルをパソコンから取り外してください。

ソフトウェアを削除する

ここでは、EOS Viewer Utilityを例にしていますが、他のソフトウェアを削除するときも同様の手順で行います。

- WIA Driver／TWAIN Driverの削除については、「ドライバを削除する」（W-63）を参照してください。
- Windows XP Professional、Windows 2000を使用しているときは、コンピューターの管理者／Administrator権限でログオンしてください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

1 ［スタート］ボタン ▶［すべてのプログラム］（他のWindowsでは［プログラム］）▶［Canon Utilities］▶［EOSViewerUtility xx］▶［EOSViewerUtility アンインストール］を選ぶ

- xx には、EOS Viewer Utilityのバージョンが表示されます。

2 表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる

➡ ソフトウェアが削除されます。

ドライバを削除する

ドライバの削除は、WIA Driver、またはTWAIN Driverを削除したあと、**［スキャナとカメラのプロパティ］**、または**［スキャナとカメラ］**でカメラデータの削除と、ドライバの設定ファイルの削除をする必要があります。

- Windows XP Professional、Windows 2000を使用しているときは、コンピューターの管理者／Administrator権限でログオンしてください。
- ドライバを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。再起動をしないで再インストールすると誤動作の原因になります。
- 操作画面に表示されるカメラ名はEOS XXXとしています。

1 ［EOS XXX WIA Driver］、または［EOS XXX TWAIN Driver］を削除する

- EOS XXXには、使用しているカメラ名が表示されます。
- Windows XP、Windows Meを使用しているときは、**［スタート］**ボタン ▶ **［すべてのプログラム］**（Windows Meでは**［プログラム］**）▶ **［Canon Utilities］** ▶ **［EOS XXX WIA Driver］** ▶ **［WIA Driverアンインストール］**を選びます。
- Windows 2000、Windows 98 SEを使用しているときは、**［スタート］**ボタン ▶ **［プログラム］** ▶ **［Canon Utilities］** ▶ **［EOS XXX TWAIN Driver］** ▶ **［TWAIN Driver アンインストール］**を選びます。

2 表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる

➡ ドライバが削除されます。

3 カメラとパソコンを接続する

- カメラ名が表示された画面や**［スキャナとカメラ ウィザード］**が表示されたときは、**［キャンセル］**ボタンを押して表示された画面をすべて終了します。

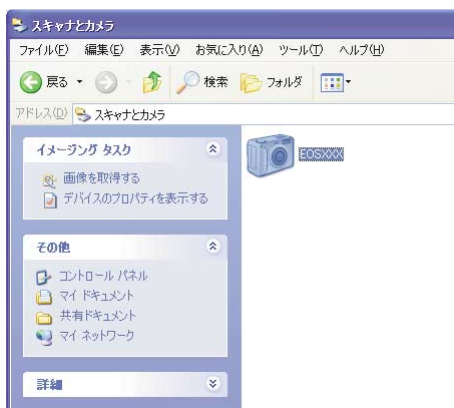
4 ［スタート］ボタン ▶ ［コントロール パネル］ ▶ ［プリンタとその他のハードウェア］ ▶ ［スキャナとカメラ］の順にクリックする

- 他のWindowsでは、**［スタート］**ボタン ▶ **［設定］** ▶ **［コントロールパネル］**を選び、**［スキャナとカメラ］**アイコンをダブルクリックします。

➡ Windows XP、Windows Meでは、**［スキャナとカメラ］**画面が表示されます。

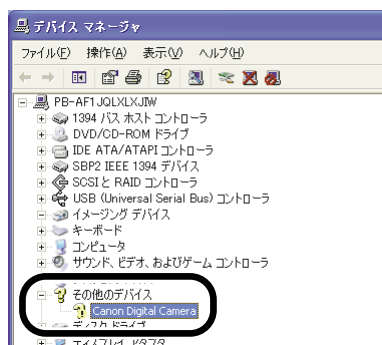
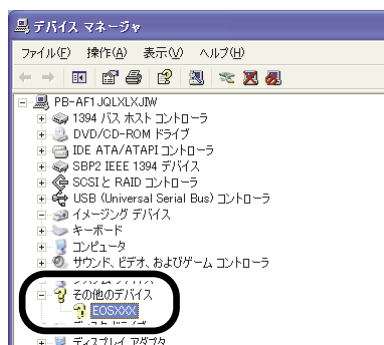
➡ Windows 2000、Windows 98 SEでは、**［スキャナとカメラのプロパティ］**画面が表示されます。

5 ［スキャナとカメラ］のカメラデータを削除する

- Windows XP、Windows Meを使用しているときは、使用しているカメラのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから［削除］を選び、確認画面で［はい］ボタンを押します。
- Windows 2000、Windows 98 SEを使用しているときは、使用しているカメラを選んで［削除］ボタンを押します。
- ［スキャナとカメラ］、または［スキャナとカメラのプロパティ］に、使用しているカメラが表示されていないときは、画面を閉じて次の手順にすすみます。

スキャナーなどのドライバがすでにインストールされているときは、それらの装置名も表示されます。誤って削除しないよう十分注意してください。

6 ［デバイス マネージャ］を表示する（W-61）

7 ［デバイス マネージャ］のカメラデータを削除する

Windows XP、Windows 2000を使用しているとき

- **［イメージング デバイス］**または**［その他のデバイス］**の左にある**［+］**を押して使用しているカメラが表示されているときは、右クリックして表示されるメニューから**［削除］**を選び、確認画面で**［OK］**ボタンを押します。
- 使用しているカメラが**［イメージングデバイス］**と**［その他のデバイス］**の両方、あるいは**［その他のデバイス］**に複数あるときは、同様の手順ですべて削除します。
- 使用しているカメラが表示されていないときや削除が終了したあとは、**［OK］**ボタンを押して次の手順にすすみます。

Windows Me、Windows 98 SEを使用しているとき

- **［イメージング デバイス］**または**［その他のデバイス］**の左にある**［+］**を押して使用しているカメラが表示されているときは、使用しているカメラを選んで**［削除］**ボタンを押し、確認画面で**［OK］**ボタンを押します。
- 使用しているカメラが**［イメージングデバイス］**と**［その他のデバイス］**の両方、あるいは**［その他のデバイス］**に複数あるときは、同様の手順ですべて削除します。
- 使用しているカメラが表示されていないときや削除が終了したあとは、**［OK］**ボタンを押して次の手順にすすみます。

8 ドライバの設定ファイルを削除する

- 使用しているWindowsにより設定ファイルの削除方法は異なります。下記のページを参照し、設定ファイルを削除してください。
  - ・ Windows XP（W-66）
  - ・ Windows 2000（W-67）
  - ・ Windows Me、Windows 98 SE（W-69）

ドライバの設定ファイルを削除する

誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。
十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows XPを使用しているとき

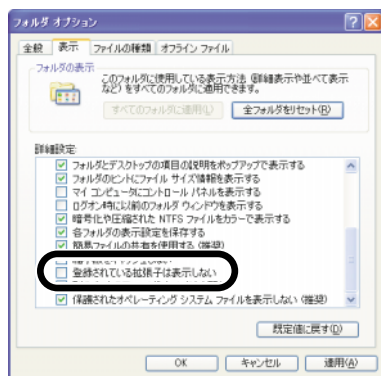
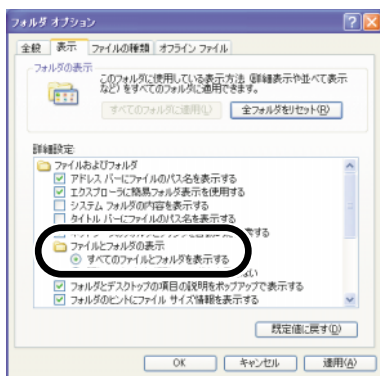
1 **［スタート］ボタン ▶［コントロール パネル］を選び、［デスクトップの表示とテーマ］▶［フォルダ オプション］の順にクリックする**

➡［フォルダ オプション］が表示されます。

2 **［表示］タブを選ぶ**

➡［表示］タブ画面が表示されます。

3 **［すべてのファイルとフォルダを表示する］ラジオボタンを選び、［登録されている拡張子は表示しない］チェックボックスのチェックを外す**

● このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。

4 **［OK］ボタンを押して［フォルダ オプション］を閉じる**

➡ 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。

5 **［スタート］ボタン ▶［マイ コンピュータ］の順にクリックする**

6 **［C:］ドライブ ▶［WINDOWS］フォルダ ▶［Inf］フォルダの順にダブルクリックして開く**

7 [Oem*.inf]、[Oem*.pnf] という名前のファイルを探す

- *には1や2などの数字が入ります。また [Oem*] ファイルは、[Oem*.inf] と [Oem*.pnf] で一組になっていて、*にはそれぞれに同じ数字が入ります。（例：Oem2.infとOem2.pnf）
- [Inf] フォルダ内には複数組の [Oem*] ファイルが存在することがあります。

8 [Oem*.inf] ファイルの内容を確認する

- [Oem*.inf] ファイルをダブルクリックしてファイルの内容を表示し、1行目に [; **** Canon Camera Driver Setup File ****] と表示されていることを確認してください。
- [Oem*.inf] ファイルが複数あるときは、この操作をくり返し行ってください。
- 目的のファイルが確認できたらファイル名を控えてください。

9 確認した [Oem*.inf]、[Oem*.pnf] ファイルを削除する

[Inf] フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows 2000を使用しているとき

1 [スタート] ボタン ▶ [設定] ▶ [コントロール パネル] を選ぶ

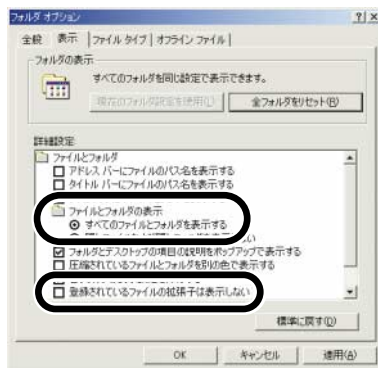
2 [フォルダ オプション] アイコンをダブルクリックする

➡ [フォルダ オプション] が表示されます。

3 [表示] タブを選ぶ

➡ [表示] タブ画面が表示されます。

4 [すべてのファイルとフォルダを表示する]ラジオボタンを選び、[登録されている拡張子は表示しない]チェックボックスのチェックを外す

- このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。

5 [OK]ボタンを押して[フォルダ オプション]を閉じる

➡ 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。

6 デスクトップの[マイ コンピュータ]▶[C:]▶[Winnt]フォルダ▶[Inf]フォルダを開く

7 [Oem*.inf]、[Oem*.pnf]という名前のファイルを探す

- *には1や2などの数字が入ります。また[Oem*]ファイルは、[Oem*.inf]と[Oem*.pnf]で一組になっていて、*にはそれぞれに同じ数字が入ります。（例：Oem2.infとOem2.pnf）
- [Inf]フォルダ内には複数組の[Oem*]ファイルが存在することがあります。

8 [Oem*.inf]ファイルの内容を確認する

- [Oem*.inf]ファイルをダブルクリックしてファイルの内容を表示し、1行目に[; **** Canon Camera Driver Setup File ****]と表示されていることを確認してください。
- [Oem*.inf]ファイルが複数あるときは、この操作をくり返し行ってください。
- 目的のファイルが確認できたらファイル名を控えてください。

9 確認した[Oem*.inf]、[Oem*.pnf]ファイルを削除する

[Inf]フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows Me、Windows 98 SEを使用しているとき

1 **［スタート］ボタン ▶ ［設定］ ▶ ［コントロールパネル］を選び、［フォルダ オプション］アイコンをダブルクリックする**

- Windows 98 SEを使用しているときは、**［スタート］**ボタン ▶ **［設定］** ▶ **［フォルダ オプション］**を選びます。

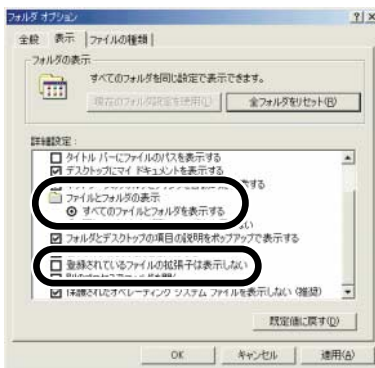
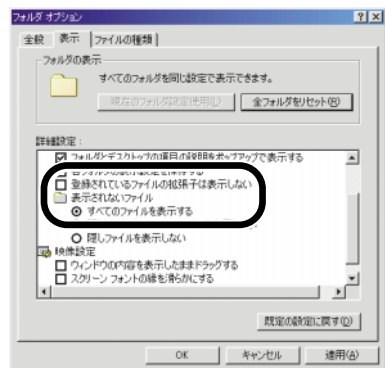
➡ **［フォルダ オプション］**が表示されます。

2 **［表示］タブを選ぶ**

➡ ［表示］タブ画面が表示されます。

3 **［すべてのファイルとフォルダを表示する］**（Windows 98 SEでは**［すべてのファイルを表示する］**）**ラジオボタンを選び、［登録されている拡張子は表示しない］チェックボックスのチェックを外す**

- このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。

Windows Me

Windows 98 SE

4 **［OK］ボタンを押して［フォルダ オプション］を閉じる**

➡ 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。

5 **デスクトップの［マイ コンピュータ］ ▶ ［C:］ ▶ ［Windows］フォルダ ▶ ［Inf］フォルダの順にダブルクリックして開く**

6 ［Drvdata.bin］、［Drvidx.bin］ファイルを削除する

DRVDATA.BIN　DRVIDX.BIN

7 ［Inf］フォルダ内の［Other］フォルダをダブルクリックして開く

8 ［Canon.IncCAP_XXXX.inf］ファイルがあるときは削除する

- EOS 10Dでは、ファイル名のXXXXに［10D］が表示されます。
- EOS Kiss Digitalでは、ファイル名のXXXXに［E3KR］が表示されます。
- EOS D60では、ファイル名のXXXXに［D60］が表示されます。
- EOS D30では、ファイル名のXXXXに［D30］が表示されます。
- 使用しているパソコン環境により、［Canon.IncCAP_XXXX.inf］ファイルがないこともあります。

［Inf］フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

索　引

英数字

あ

か

さ

た

は

ま

ら

Macintosh

各OSの操作方法が共通のときは、Mac OS X（10.2）を使用したときの画面を例に説明しています。また、本章では、Mac OS XをOS X、Mac OS 9.2をOS 9と表記しています。

ソフトウェア動作環境

付属のソフトウェアは、次の動作環境に対応しています。

OS（オーエス）	Mac OS X 10.1～10.3、 Mac OS 9.0～9.2（Mac OS 9.2推奨）
機種	上記の日本語版OSがインストールされていて、 USB接続部を標準装備したMacintosh * 初代iMacをお使いのときはファームウェアのアップデートが必要です。
CPU（シーピーユー）	Power PC
RAM（ラム）	Mac OS X：256MB以上 Mac OS 9.0～9.2：128MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	EOS Viewer Utility：300MB以上
ディスプレイ	解像度：1024×768以上 カラー：約32,000カラー以上

- Mac OS XでUFS（Unix File System）フォーマットされたディスクには対応していません。
- インストールには、CD-ROMドライブが必要です。

1 インストール

この章では、付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

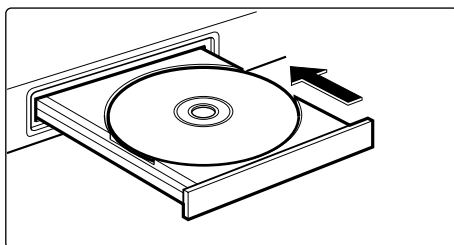
ソフトウェアをインストールする

- 使用しているMacintoshが、ソフトウェア動作環境（M-2）に対応していることを確認してから、手順通りにインストールしてください。

1 Macintoshを起動する

- 他のソフトウェアが起動しているときは、すべて終了します。

2 CD（EOS DIGITAL Solution Disk）を入れる

➡ CDのアイコンがデスクトップ上に表示されます。

3 インストールを開始する

- CDのアイコン ▶［Mac OS X］フォルダを開いて右のアイコンをダブルクリックします。

OS X

Canon EOS Digital Installer

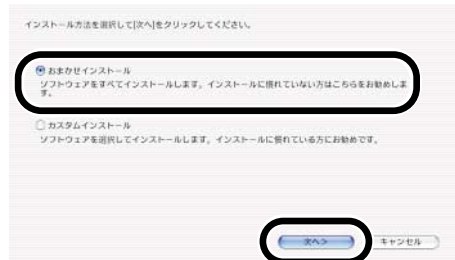
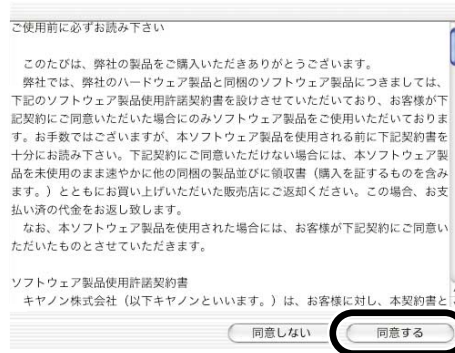
- OS 9では、表示されたCD内の［Mac OS 9］フォルダを開いて右のアイコンをダブルクリックします。

OS 9

Canon EOS Digital Installer

➡ インストーラーパネルが表示されます。

4 ［インストール］ボタンを押す

5 ［おまかせインストール］を選び、［次へ］ボタンを押す

6 使用許諾契約の内容を確認し、［同意する］ボタンを押す

7 インストール先を確認し、［次へ］ボタンを押す

➡ インストールがはじまり、約2〜3分で終了します。

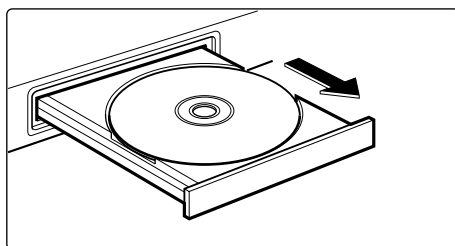
8 インストールを終了する

- 【OK】ボタンを押します。

9 【終了】ボタンを押す

10 インストールが終了したらCDを取り出す

- 引き続き2章で通信モードを設定し、カメラとパソコンを接続します。

2

画像を取り込む準備をする

この章では、通信モードの設定、カメラやカードリーダー（市販品）とパソコンの接続方法について説明します。

通信モードを設定する

Solution Diskのソフトウェアを使用して、カメラとの通信を行うには、カメラの通信モードを［標準］に設定します。

- **本ページの設定は、EOS 10D、EOS Kiss Digitalのみ必要です。**
- EOS 10Dは、ファームウェアをVersion 2.0.0以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

1 カメラとパソコンが接続されていないことを確認し、電源スイッチを〈ON〉にする

2 メニューの［通信設定］を［標準］に設定する

- EOS Kiss Digitalでは、メニュー〈ƒT2〉の［通信設定］を［標準］に設定します。

3 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消し、電源スイッチを〈OFF〉にする

- 通信モードを［PTP］に設定すると、Solution Diskのソフトウェアとカメラの通信はできません。ソフトウェアを使用するときは、必ず、通信モードを［標準］に設定してください。
- 通信モードを設定するときは、必ずカメラとパソコンが接続されていない状態で行ってください。カメラとパソコンを接続した状態で通信モードを設定すると、カメラやソフトウェアが誤動作します。

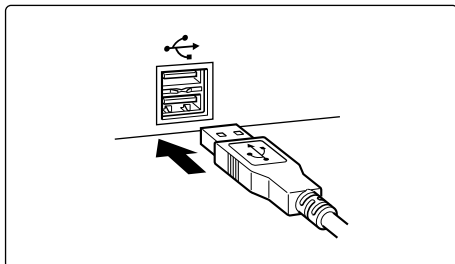
PTP設定について

PTP機能は、OS Xをご使用の方のみ使うことができます。この機能を使うと簡単にJPEG画像をパソコンへ取り込むことができます。また、この機能を使うには、上記の手順2で、［通信設定］を［PTP］に設定します。

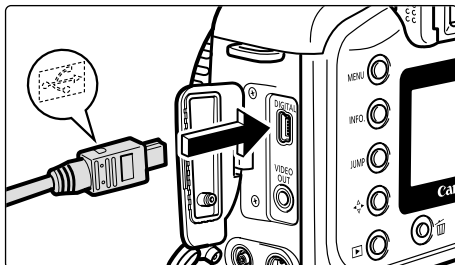
- PTP機能を使ったJPEG画像の取り込みかたについては、「OS X（10.1以降）のPTP機能でJPEG画像を取り込む」（M-12）を参照してください。

カメラとパソコンを接続する

画像の取り込みやカメラを設定するときは、専用のUSBケーブルで接続します。
接続はパソコンを起動した状態で行うことができます。

1 専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する

- USB接続部にプラグを接続します。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 専用ケーブルのプラグをカメラに接続する

- カバーを開いて、プラグの〈⭠〉をカメラの前面に向け、〈**DIGITAL**〉端子部に差し込みます。
- EOS D60、EOS D30では、プラグの〈▶〉マークと、〈**DIGITAL**〉端子部の〈▶〉マークがあうように差し込みます。

3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

➡ カメラとパソコンが通信可能な状態になります。

- 引き続き3章へすすんでください。

M

2

画像を取り込む準備をする

- カメラとパソコンを接続して、Solution Diskからインストールしたソフトウェアを起動しているときに次の操作を行うと、通信不良を起こすことがありますので、絶対に行わないでください。
  - ・カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
  - ・CFカードスロットカバーを開ける
  - ・専用ケーブルを取り外す、バッテリーを取り出す、ACアダプターキット（別売）または、DCカプラーを取り外す
  - ・ACアダプターキット（別売）または、DCカプラーのプラグや電源コードを抜く

  上記の操作を行うときは、必ず、すべてのソフトウェアを終了してから行ってください。
- カメラの液晶モニターを表示している状態では、カメラとの通信はできません。必ず、液晶モニターの表示を消してから、カメラとパソコンを接続してください。
- カメラとパソコンが通信しているときは、カメラの表示パネル内容が点滅表示になることがあります。
- 専用ケーブル以外は使用しないでください。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- ハブを介してカメラとパソコンを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 複数のUSB機器（マウス、キーボードを除く）をパソコンに接続していると、カメラが正しく動作しないことがあります。他のUSB機器をパソコンから外して、カメラのみ接続してください。
- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、パソコンとの通信ができなくなります。事前にオートパワーオフ機能を「切」に設定してください。（付属のカメラ使用説明書「メニュー機能の操作と設定」）
- 1台のパソコンにカメラを2台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 専用ケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。
- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、使用しているパソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。

  万一、パソコンがスタンバイ（スリープ）状態になってしまったときは、専用ケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ（スリープ）状態から回復してください。スタンバイ（スリープ）状態で専用ケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ（スリープ）状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ（スリープ）状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

カメラとパソコンを接続するときは、EOS 10D、EOS Kiss DigitalではACアダプターキット（別売）、EOS D60、EOS D30では付属のDCカプラーの使用をおすすめします。

カードリーダーを使う

市販のカードリーダーをお持ちの方は、メモリーカードから直接パソコンへ画像を取り込むことができます。

1 カメラからメモリーカードを取り出す

2 メモリーカードをカードリーダーに差し込む

➡ 引き続き3章へすすんでください。

カードリーダーとパソコンの接続方法については、カードリーダーの使用説明書を参照してください。

OS X（10.1以降）のPTP機能でJPEG画像を取り込む

OS X（10.1以降）をご使用の方は、PTP（Picture Transfer Protocol）機能を使うことができます。PTP機能を使うと、Solution Diskのソフトウェアを起動することなく、カメラ内のメモリーカードに保存されたJPEG画像をパソコンへ取り込むことができます。

- **この機能はEOS 10D、EOS Kiss Digitalのみ対応しています。**
- EOS 10Dは、ファームウェアをVersion 2.0.0以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

1 カメラの通信モードを［PTP］に設定する（M-8）

- メニューの **［通信設定］** を **［PTP］** に設定する
- EOS Kiss Digitalでは、メニュー〈YT2〉の **［通信設定］** を **［PTP］** に設定します。
- 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消します。
- 終わったらカメラの電源スイッチを〈OFF〉にします。

2 カメラとパソコンを接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする（M-9）

➡ イメージキャプチャまたは、iPhotoが起動します。

- 起動するソフトウェアは、イメージキャプチャで設定することができます。

3 表示内容にしたがって画像を取り込む

- 表示される画面内容にしたがって操作を行い、JPEG画像を取り込みます。

- カメラを接続したときに起動するソフトウェアを設定するには、イメージキャプチャを起動して、**［イメージキャプチャ］** メニューから **［環境設定］** を選び、表示される **［イメージキャプチャ環境設定］** 画面の **［カメラを接続したときに起動する項目］** リストボックスで選びます。
- イメージキャプチャやiPhotoは、OS Xに付属のソフトウェアです。詳しい操作については、各ソフトウェアのヘルプを参照してください。

3 EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

この章では、EOS Viewer Utilityを使って撮影画像をパソコンへ取り込み、画像編集を行って保存する方法や、取り込んだ画像をレタッチソフトに転送する方法などについて説明します。

EOS Viewer Utilityの制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

はじめにお読みください：**[Canon Utilities]** フォルダ ▶ **[EOS Viewer Utility]** フォルダ ▶ **[はじめにお読みください]** の順にダブルクリックして表示します。

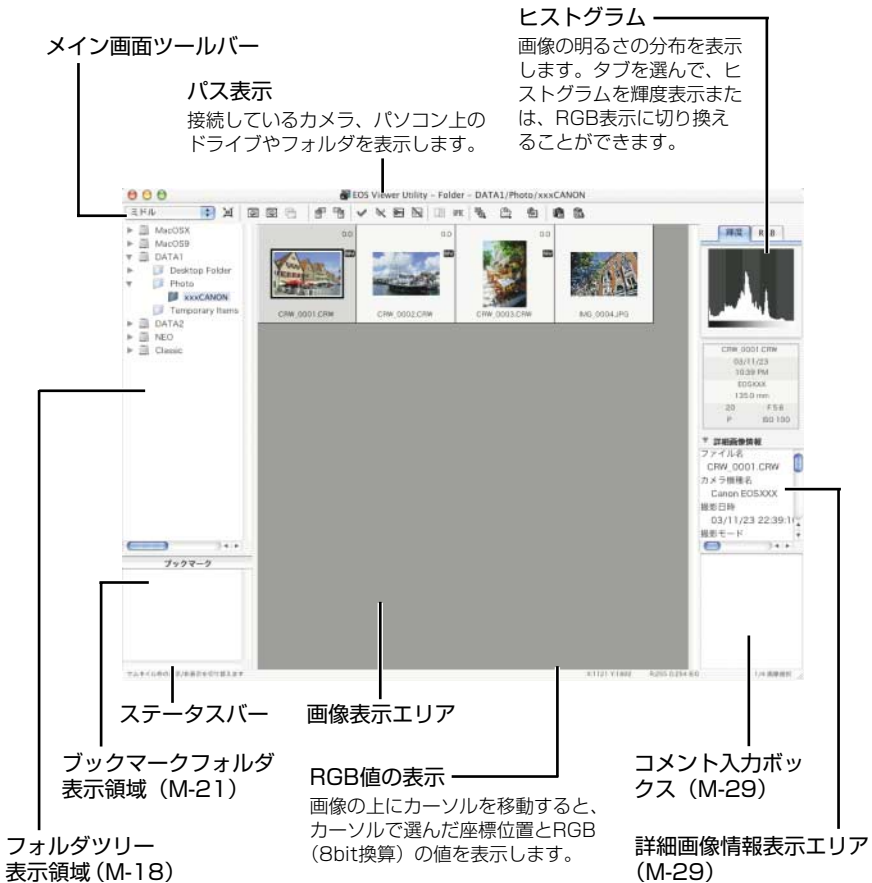
EOS Viewer Utilityを起動する

1 カメラとパソコンを接続する（M-9）

2 デスクトップの［Canon EOS Viewer Utility］アイコンをダブルクリックする

➡ メイン画面が表示されます。

● ［Canon Utilities］フォルダ ▶ ［EOS Viewer Utility］フォルダ ▶ ［EOS Viewer Utility］アイコンの順にダブルクリックして起動することもできます。

メイン画面

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- OS XでのEOS Viewer Utilityの終了は、**［EOS Viewer Utility］**メニュー ▶ **［EOS Viewer Utilityを終了］**を選びます。
- OS 9でのEOS Viewer Utilityの終了は、**［ファイル］**メニュー ▶ **［終了］**を選びます。

EOS Viewer UtilityをインストールするとEOS Capture（リモート撮影用ソフト）が一緒にインストールされます。ただし、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30では使用できません。

メイン画面ツールバー

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

RAW調整ツールパレット

- RAW画像を選ぶと、撮影したカメラ名と設定できる現像条件が表示されます。

＊1 EOS D60のRAW画像では表示されません。

＊2 EOS D30のRAW画像では表示されません。

※ 上記のツールパレットは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- JPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。
- カメラ内のメモリーカードに保存されているRAW画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

- 撮影時の設定は、リストボックスに太文字（ボールド）／斜体（イタリック）で表示されます。
- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**［表示］**メニュー ▶ **［ツールパレット］**を選んで表示します。

画像を取り込む

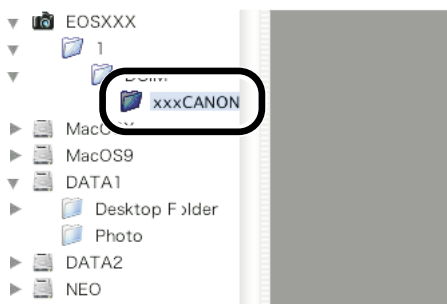
カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み（コピー）、メイン画面に表示します。画像の取り込みは、フォルダツリー表示領域で行います。

1 画像を取り込むフォルダを作る

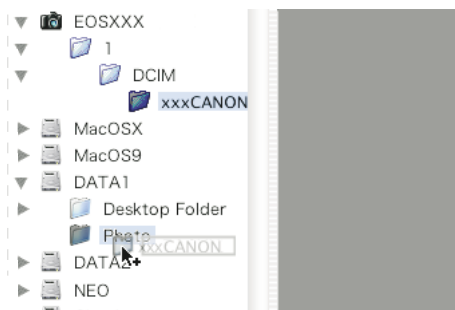
- 画像の取込先となるフォルダを〈control〉+クリックし、表示されるメニューから **[新規フォルダ]** を選んで、フォルダ名を入力します。（ここでは、フォルダ名に［Photo］と入力します）

2 コピーしたいフォルダを表示する

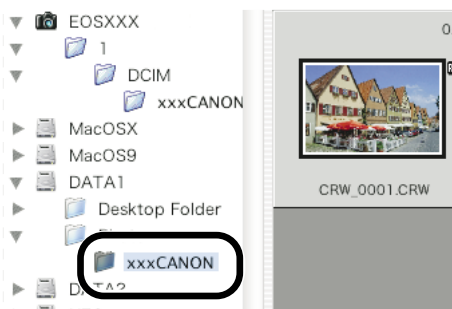
- カメラのアイコン ▶ ［1］フォルダ ▶ ［DCIM］フォルダの順にダブルクリックします。

➡ ［xxxCANON］フォルダが表示されます。（xxxには100～999までの数字が表示されます）

3 フォルダをコピーする

- ［xxxCANON］フォルダをドラッグし、コピー先のフォルダ上でドロップします。

➡ ［xxxCANON］フォルダがパソコンに保存されます。

コピーしたフォルダをクリックする

➡ フォルダ内の撮影画像が表示されます。

● カメラをパソコンから取り外すときは、EOS Viewer Utilityを終了したあと、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にして、専用ケーブルを取り外します。

● カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示（M-22）、RAW画像の編集（M-31）を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。
● 市販のカードリーダーを使用して撮影画像を表示するときも、同様の手順で目的のフォルダをパソコンに取り込みます。

対応画像形式について

EOS Viewer Utilityで表示できるのは以下の画像です。

・ EOS DIGITALカメラ（1D Mark II、1Ds、1D、10D、D60、D30、Kiss Digital）で撮影したRAW画像、JPEG画像
・ EOS Viewer Utilityで保存したTIFF画像、JPEG画像（M-39）
・ DCF規格に準拠したJPEG画像

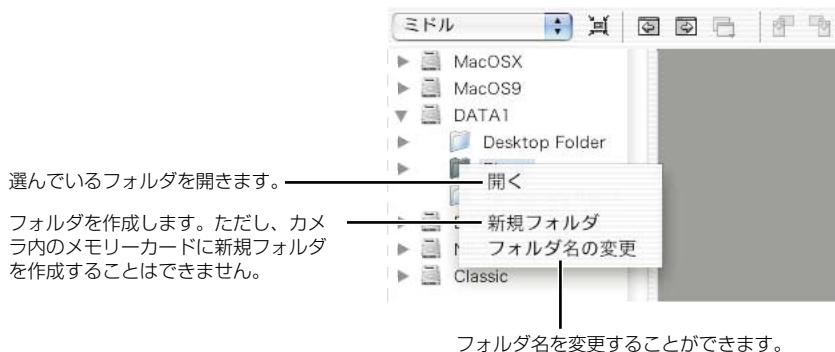
※ 表示できない画像は、［?］が表示されます。

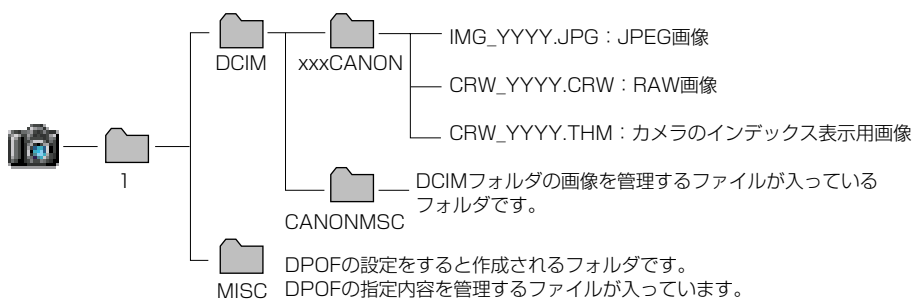
● 撮影したあとにパソコンで加工したり、ファイル名を変更した画像は、正常に表示できないことがあります。
● カメラ内の画像を表示しているときは、カメラは使用できません。

● **［縦横自動回転表示］**機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
● 選んだフォルダに大量の画像が保存されているときは、表示するまでに時間がかかることがあります。

フォルダ操作

フォルダを〈control〉+クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを〈control〉+クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ

フォルダツリー表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで他のフォルダへコピーすることができます。

メモリーカードのフォルダ構造とファイル名について

- フォルダ名のxxxには、100～999までの数字が入ります。
- ファイル名のYYYYには、0001～9999までの数字が入ります。

よく使うフォルダを登録する

よく使うフォルダをブックマークフォルダに登録することができます。

1 登録したいフォルダを表示する（M-18）

2 フォルダを登録する

- 右の図のように、登録するフォルダをドラッグ アンド ドロップします。
- ➡ 登録されると、ブックマークフォルダ表示領域にフォルダアイコンが表示されます。
- 登録を解除するときは、解除するフォルダを〈control〉+クリックして、表示されるメニューから［削除］を選びます。

- ブックマークフォルダ表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで並び順を変更することができます。
- 登録を解除したフォルダは、ブックマークフォルダ表示領域から表示が消えるだけで、フォルダおよびフォルダ内の画像は消去されません。

画像の表示方法を選ぶ

各画面の表示内容や表示サイズを選ぶことができます。

メイン画面（サムネイル表示）

画像には各種の情報が表示されます。

プレビュー画面表示

メイン画面の画像をダブルクリックすると、画像を拡大して表示します。
RAW画像の現像条件を変更するときは、この画面にして行います。

- プレビュー画面に表示できる画像は、最大6枚までです。
- プレビュー画面は、低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。

プレビュー画面

プレビュー画面ツールバー

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

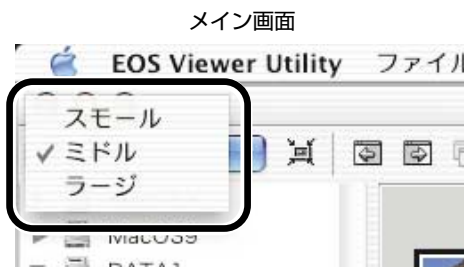
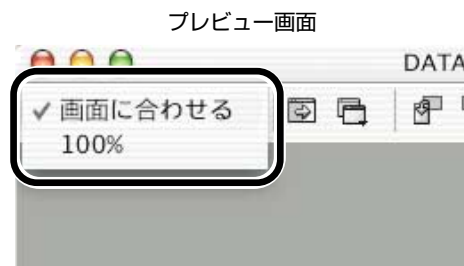
カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示、RAW画像の編集（M-31）を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

プレビュー画面の表示は、画像により、高解像な表示に切り換わるまで時間がかかることがあります。

表示サイズを選ぶ

リストボックスから表示サイズを選ぶ

- メイン画面では、［スモール］（64×42 pixels）、［ミドル］（100×66 pixels）、［ラージ］（160×106 pixels）から選びます。

メイン画面

- プレビュー画面では、［画面に合わせる］、［100%］から選びます。
- ［100%］を選んだときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

プレビュー画面

AFフレームの確認

撮影時に使用したAFフレームを表示することができます。

- **この機能はEOS 10D、EOS Kiss Digitalの画像にのみ対応しています。**

1 画像をプレビュー画面に表示する（M-22）

2 ［AFフレーム］表示ボタンを押す

➡ AFフレームが表示されます。

- 再度ボタンを押すと非表示になります。

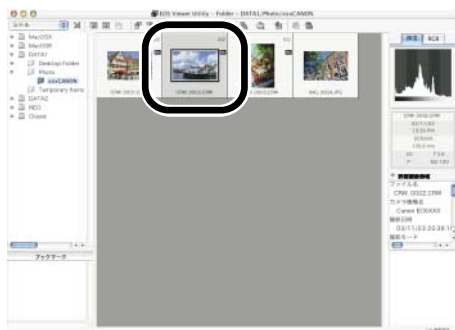
AFフレーム自動選択で撮影したときは、ピントの合ったAFフレームが複数表示されることがあります。

画像を選ぶ

メイン画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

➡ 選んだ画像の枠に色が付きます。

- 複数の画像を選びたいときは、〈shift〉キーを押したまま画像をクリックします。
- 連続した画像を選びたいときは、最初の画像をクリックしたあと、〈option〉+〈shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックします。

キーボードの矢印キー（↑←→↓）を使って画像を選ぶこともできます。

プレビュー画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

➡ 選んだ画像が最前面に表示されます。

- プレビュー画面を1枚だけ表示しているときは、**［1つ前の画像選択］**ボタンまたは、**［1つ後の画像選択］**ボタンを押して、表示する画像を選ぶこともできます。

画像にチェックマークをつける

画像を選ぶときに便利な、チェックマークをRAW画像につけることができます。

［チェックマーク］ボタンを押す

➡ チェックマークがつくと、画像の枠に［✔］が表示されます。

● ［チェックマーク解除］ボタンを押すと、画像の枠から［✔］が消え、チェックマークが解除されます。

RAW画像以外の画像には、チェックマークは設定できません。

- 複数のRAW画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像にチェックマークが設定されます。
- 〈control〉+クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を条件で選ぶ

画像を条件で一度に選ぶことができます。

［画像選択］ボタンを押して表示されるメニューから、画像の条件を選ぶ

➡ 条件にあう画像が選ばれます。

メイン画面を最前面、最背面に移動する

［ウィンドウ］ボタンを押して表示されるメニューから**［メインウインドウを最前面に移動］**または、**［メインウインドウを最背面に移動］を選ぶ**

➡ メイン画面が最前面または、最背面に移動します。

プレビュー画面の表示サイズを統一する

複数表示されているプレビュー画面の表示サイズを統一することができます。

1 **サイズ統一の基準とする画像を選ぶ**（M-25）

2 **［ウィンドウ］**ボタンを押して表示されるメニューから**［ウインドウサイズを統一］を選ぶ**

➡ プレビュー表示されているすべての画像が、同じサイズに統一されます。

画像を編集する

EOS Viewer Utilityで表示できるすべての画像に、各種の編集を行うことができます。

複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。

画像にプロテクトをかける

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトをかけることができます。

[プロテクト] ボタンを押す

➡ プロテクトがかかると、画像の枠に [🔑] が表示されます。

● [プロテクト解除] ボタンを押すと、画像の枠から [🔑] が消え、プロテクトが解除されます。

- カメラでプロテクトをかけた画像は、自動的に [🔑] が表示されます。
- プロテクトは画像の消去のみを防止する機能で、画像に対する各種操作は行うことができます。
- 〈control〉+クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を回転する

選んだ画像を左右90度単位で回転させることができます。

[右90度回転] ボタンまたは、[左90度回転] ボタンを押す

➡ 画像が選んだ方向に90度回転します。

- [縦横自動回転表示] 機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。
- 〈control〉+クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を消去する

不要な画像をパソコンのゴミ箱に移動して消去します。

1 ［画像消去］ボタンを押す

➡ 画像がゴミ箱に移動します。

2 デスクトップ上で［Finder］メニュー ▶［ゴミ箱を空にする］を選ぶ

- OS 9では、［特別］メニュー ▶［ゴミ箱を空に］を選びます。

➡ 画像が消去されます。

- 手順2で［ゴミ箱を空にする］（OS 9では［ゴミ箱を空に］）の操作を行い、消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- 大切な画像は、誤って消去しないようにプロテクト（M-28）をかけてください。

 〈control〉+クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像情報の確認とコメント入力

撮影画像に記録されている情報を確認したり、コメントを入力することができます。

詳細画像情報表示エリア

- 各種の撮影情報が表示されます。項目数はカメラの設定により異なります。
- テキストデータとしてコピーし、他のソフトウェアへペーストすることができます。
- ［▼］ボタンを押して、詳細画像情報表示エリアを非表示にすることができます。

コメント入力ボックス

半角英数字で120文字（全角60文字）まで入力することができます。
コメントを入力し、〈return〉キーを押します。

コメント入力ボックスでは、改行できません。

 複数の画像を選んだときは、最後に選んだ画像の情報が表示されます。

画像を印刷する

撮影した画像をインデックス状に印刷することができます。

1 インデックス印刷したい画像を選ぶ（M-25）

2 ［ファイル］メニュー ▶ ［インデックス印刷］を選ぶ

➡ プリント設定画面が表示されます。

3 印刷するプリンターや各種設定を行って印刷する

RAW画像を編集する

使用目的に最適な画像にするため、RAW画像の現像条件を設定することができます。

RAW画像の現像について

RAW画像は、撮影時にカメラで設定した現像条件（現像パラメーターやホワイトバランスなど）に基づいて現像処理が行われ、パソコンに表示されます。

- RAW画像は次の操作を行ったときに現像処理が行われて表示されます。
  - ・ メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき
  - ・ プレビュー画面および、メイン画面で、現像条件を設定したとき
  - ・ TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存したとき
  - ・ 設定したレタッチソフトに画像を転送したとき

  また、現像処理を行ったときは、表示するまでに時間がかかります。

- 現像時間の目安

操作内容	メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき	設定したレタッチソフトに画像を転送したとき
EOS 10D	約4秒	約35秒
EOS Kiss Digital	約4秒	約35秒
EOS D60	約4秒	約30秒
EOS D30	約4秒	約25秒

- **・ 現像時間はあくまでも目安です。使用しているパソコン環境や画像により、現像時間は大きく異なります。**
- ・ 現像時間は、当社試験基準によります。
  （OS：OS X（10.2）／CPU：Power PC G5 1.6GHz／RAM：256MB使用時）
- ・ レタッチソフトに画像転送したときの現像時間には、レタッチソフト（Adobe Photoshop 7.0使用時）の起動時間を含んでいます。

カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示（M-22）、RAW画像の編集を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

現像条件を設定する

現像条件の設定は、RAW調整ツールパレットで行います。

- 現像条件の設定は、RAW画像に手を加えるのではなく、仮想的に現像条件を適用します。そのため、何回でも条件を変更してやりなおしたり、設定した現像条件を撮影時の状態に戻すことができます。
- リニア処理は、画像保存のときやレタッチソフトに画像を転送したときに設定できる現像条件です。（M-40、M-43）

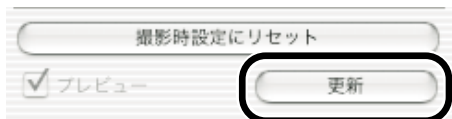
1 RAW画像をプレビュー画面に表示する（M-22）

- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**［表示］**メニュー ▶ **［ツールパレット］**を選んで表示します。

2 現像条件を設定する（M-33～M-38）

- **［撮影時設定にリセット］**ボタンを押すと、撮影時の設定状態に戻すことができます。
- **［プレビュー］**チェックボックスをチェックしておくと、設定した現像条件がリアルタイムでRAW画像に適用されます。

3 ［更新］ボタンを押す

➡ 現像処理が行われ、設定した現像条件がRAW画像に適用されます。

4 画像を保存（M-39）、転送（M-42）する

EOS Viewer Utilityで設定した現像条件は、EOS Viewer Utilityを終了するとすべてキャンセルされ、撮影時の現像条件に戻ります。現像条件を設定したRAW画像は、TIFF画像、JPEG画像に変換して保存（M-39）するか、レタッチソフトに転送（M-42）してから保存してください。

- メイン画面で複数の画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像に、設定した現像条件が適用されます。
- メイン画面で現像条件の設定を行うと、**［プレビュー］**チェックボックスをチェックしていなくても、設定した現像条件がリアルタイムで画像に適用されます。

明るさを調整する（デジタル露出補正）

画像の明るさを0.1段ステップ、±2段相当の範囲で調整することができます。

- **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60のRAW画像にのみ対応しています。**

スライダーを左右にドラッグして調整する

➡ 調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

ホワイトバランスを調整する

画像のホワイトバランスを調整することができます。

ホワイトバランスを選ぶ

撮影したときの光源にもっとも近いホワイトバランスを選びます。

リストボックスからホワイトバランスを選ぶ

- EOS D60、EOS D30のRAW画像では［日陰］［色温度指定］は表示されません。

ホワイトバランス	内　容	色温度 K（ケルビン）
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約3000～7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約5200＊
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約6000
色温度指定	ホワイトバランスの色温度を2800～10000K（100Kステップ）の範囲で直接設定することができます。（M-35）	約2800～10000

＊ EOS D30のRAW画像では、約5500です。

➡ 選んだホワイトバランスが、RAW調整ツールパレットに設定されます。

色温度を設定する

色温度を設定し、ホワイトバランスを調整することができます。

● **この機能はEOS 10D、EOS Kiss DigitalのRAW画像にのみ対応しています。**

1 リストボックスから［色温度指定］を選ぶ

2 色温度を入力する

- ［色温度］入力ボックスに、2800K～10000Kまで（100Kステップ）の色温度を入力します。
- ➡ 入力した色温度が、RAW調整ツールパレットに設定されます。

クリックホワイトバランス

画像の白い部分を1か所選ぶと、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 ［クリックホワイトバランス］ボタンを押す

➡ 画像の上にカーソルを移動すると、［ ］が［ ］に変わります。

2 画像の白い部分をクリックする

➡ 選んだ部分が白くなるように調整されます。

- クリックホワイトバランスは、**［プレビュー］**チェックボックスをチェックしていなくても、操作内容がリアルタイムで画像に適用されます。
- クリックホワイトバランスを使用すると、**［ホワイトバランス］**リストボックスには**［白点指定］**が表示されます。

コントラストを選ぶ

画像の明暗差を強調するコントラストを調整することができます。

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

● EOS D60、EOS D30のRAW画像では、[やや弱く]、[やや強く] は表示されません。

色の濃さを選ぶ

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

● EOS D60、EOS D30のRAW画像では、[やや薄く]、[やや濃く] は表示されません。

色あいを調整する

● **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60のRAW画像にのみ対応しています。**

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

● マイナス側に設定すると赤寄りに、プラス側に設定すると黄色寄りの色になります。

● EOS D60のRAW画像では、[–2]、[+2] は表示されません。

色空間を設定する

撮影した画像の色空間を設定することができます。

● **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss DigitalのRAW画像にのみ対応しています。**

リストボックスから調整値を選ぶ

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

ICCプロファイルを付加することができます。

シャープネスを選ぶ

画像の輪郭を強調するシャープネスを調整することができます。

リストボックスから調整値を選ぶ

● 数値が大きくなるほどシャープネスは強く調整されます。

● EOS D60のRAW画像では、**[やや弱く]**、**[やや強く]** は表示されません。

● EOS D30のRAW画像では、**[切]**、**[やや弱く]**、**[やや強く]** は表示されません。

➡ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

画像を保存する

RAW画像をTIFF画像やJPEG画像に変換して保存したり、JPEG 画像を別名で保存することができます。また、RAW画像をTIFF画像に変換して保存したときは、設定した色空間情報（M-38）が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。
ICC（アイシーシー）とは、International Color Consortium（国際照明委員会）の略です。

1 保存したい画像を選ぶ（M-25）

2 ［ファイル保存］ボタンを押して表示されるメニューから［変換・ファイル保存］を選ぶ

➡ ［ファイル保存］画面が表示されます。

3 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➡ 選んだフォルダに画像が保存されます。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し、［ファイル保存］画面を閉じます。

設定内容を適用して画像を保存します。

RAW画像を変換して保存したTIFF画像には、自動的にICCプロファイルが付加されます。ICCプロファイルを付加した画像をレタッチソフトで表示するときは、より正確な色を表示できるICCプロファイル対応のソフトウェアをおすすめします。

[以下の指定フォルダに保存] ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。**[参照]** ボタンの横には、保存先のフォルダ名が表示されます。

リストボックスで、**[JPEG]** を選んだときの **[画質]**（圧縮率）を **[4（最高画質）]** ～ **[1（やや高圧縮率）]** から選びます。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像になります。

※この機能は、ご使用のカメラに対応していません。

保存するときの出力解像度を10～2000 pixels／inchの範囲で設定します。

保存する画像にRAW画像が含まれているときの、画像の変換形式を **[変換しない]**、**[JPEG]**、**[TIFF]** から選びます。**[TIFF]** を選んだときは、保存するときのbit数を **[8bit／ch]**、**[16bit／ch]**、**[16bit／ch リニア]** をから選ぶことができます。また、**[JPEG]** を選んだときは、**[8bit／ch]** で保存されます。
保存後の拡張子は、次のようになります。

変換形式	拡張子
変換しない	.CRW
JPEG形式（8bit／ch）	.JPG
TIFF形式（8bit／ch）	.TIF
TIFF形式（16bit／ch、16bit／chリニア）	.TIF

チェックすると画像の名称を変更しないで保存します。

ファイルに付ける番号の桁数と開始番号を入力します。桁数は最大9桁まで設定できます。

ファイル番号の前に付けるファイル名です。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある［例］の部分に例が表示されます。

※この機能は、ご使用のカメラに対応していません。

RAW画像をJPEG画像、またはTIFF画像に変換して保存するときにチェックすると、ファイル名の最後に以下の文字が付きます。

変換形式	ファイル名
JPEG	RJ
TIFF（8bit／ch）	RT8
TIFF（16bit／ch、16bit／chリニア）	RT16、RT16L

〈control〉+クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

RAW画像からJPEG画像を抽出する

- RAW画像に同時記録されたJPEG画像を抽出／保存することができます。
- **この機能は、EOS 10D、EOS Kiss DigitalのRAW画像にのみ対応しています。**
- EOS Kiss Digitalは、Middle／FineのJEPG画像が同時記録され、EOS 10Dはカメラで設定したJPEG画像が同時記録されます。
- 設定できる内容は、「画像を保存する」（M-39）の「保存フォルダ」、「ファイル名」と同じ内容です。

1 JPEG画像を抽出したいRAW画像を選ぶ（M-25）

2 ［ファイル保存］ボタンを押して表示されるメニューから［JPEG抽出・保存］を選ぶ

➡ ［JPEG抽出・保存］画面が表示されます。

3 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➡ 選んだフォルダにJPEG画像が保存されます。

M

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

レタッチソフトに画像を送る

EOS Viewer Utilityに表示されている画像をレタッチソフトへ転送することができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

- 画像転送を行うには、Adobe Photoshopなど市販のレタッチソフトが必要です。
- 画像の転送をする前に必ず画像転送の設定を行ってください。

1 **[画像転送]** ボタンを押す

➡ **[画像転送]** 画面が表示されます。

2 **[参照]** ボタンを押す

➡ **[アプリケーションの選択]** 画面が表示されます。

3 画像を転送するレタッチソフト（Photoshop 7.0）を選ぶ

- Photoshop 7.0をインストールしたドライブ ▶ **[Adobe Photoshop 7]** フォルダ ▶ **[Adobe Photoshop 7.0]** の順に選び、**[選択]** ボタンを押します。

➡ Photoshopが設定され、画面を閉じます。

4 ラジオボタンを選び、転送する画像を保存するフォルダを設定する

転送する画像を同じフォルダに、新たな画像として保存します。

元画像フォルダに保存
以下の指定フォルダに保存
Macintosh HD/ユーザ/xxx/デスクトップ

［参照］ボタンを押して、転送する画像を保存するフォルダを指定します。

5 ［出力設定］項目、［ファイル名］項目を設定し、［OK］ボタンを押す

- ［出力設定］、［ファイル名］の設定方法については、「画像を保存する」（M-39）を参照してください。

➡ Photoshopが起動し、転送した画像が表示されます。

➡ 転送した画像は、手順4で設定したフォルダに保存されます。

- 画像転送機能に設定するレタッチソフト（市販品）は、16bit画像に対応したレタッチソフトの使用をおすすめします。
- RAW画像をTIFF画像に変換して転送したときは、設定した色空間情報（M-38）が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。
- 〈control〉+クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

環境設定

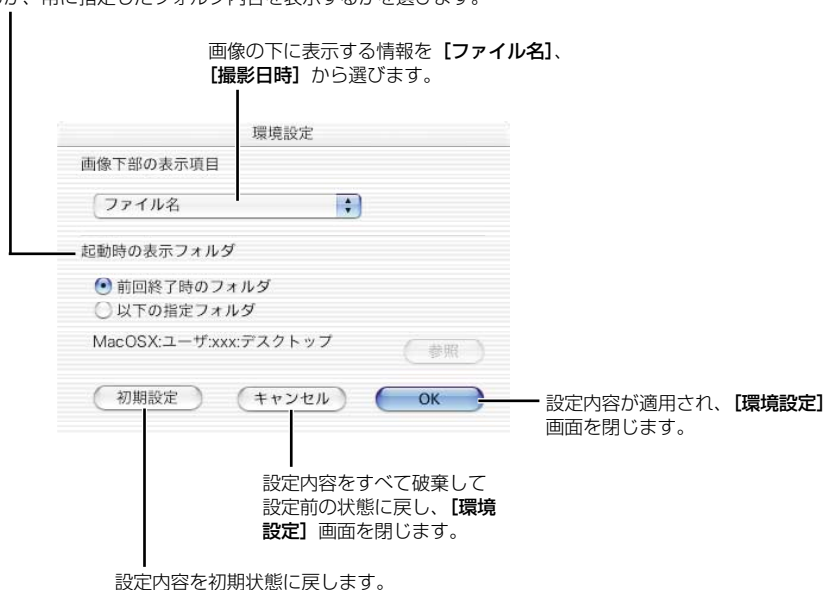
EOS Viewer Utilityの各種設定を行うことができます。

1 **［EOS Viewer Utility］メニュー ▶［環境設定］を選ぶ**

➡ **［環境設定］**画面が表示されます。

2 **各項目を設定して［OK］ボタンを押す**

➡ 設定内容が適用され、**［環境設定］**画面が閉じます。

EOS Viewer Utility起動時に、前回開いていたフォルダ内容を表示するか、常に指定したフォルダ内容を表示するかを選びます。

画像の下に表示する情報を**［ファイル名］**、**［撮影日時］**から選びます。

設定内容が適用され、**［環境設定］**画面を閉じます。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し、**［環境設定］**画面を閉じます。

設定内容を初期状態に戻します。

IPTC情報設定

IPTC（アイピーティーシー）とは、International Press Telecommunications Council（国際新聞電気通信評議会）の略で、新聞／通信社が、画像の転送を円滑に行うために定めた、画像に付加する報道用情報交換タグの規格です。
このIPTC情報をJPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像に付加することができます。また、入力したIPTC情報をパソコンに保存し、他の画像に読み込んで適用することができます。

1 JPEG画像または、TIFF画像を選ぶ（M-25）

2 [IPTC情報] ボタンを押す

➡ **[IPTC情報]** 画面が表示されます。

3 情報を入力する（M-46、M-47）

- **[IPTC-1]** ～ **[IPTC-3]** タブを選んでタブ画面を表示し、情報を入力します。
- **[名前を付けて保存]** ボタンを押して表示される画面で、入力したIPTC情報を保存することができます。
- **[読み込み]** ボタンを押して表示される画面で、保存したIPTC情報を読み込むことができます。

4 [保存] ボタンを押す

➡ 設定したIPTC情報が画像に適用されます。

5 [OK] ボタンを押す

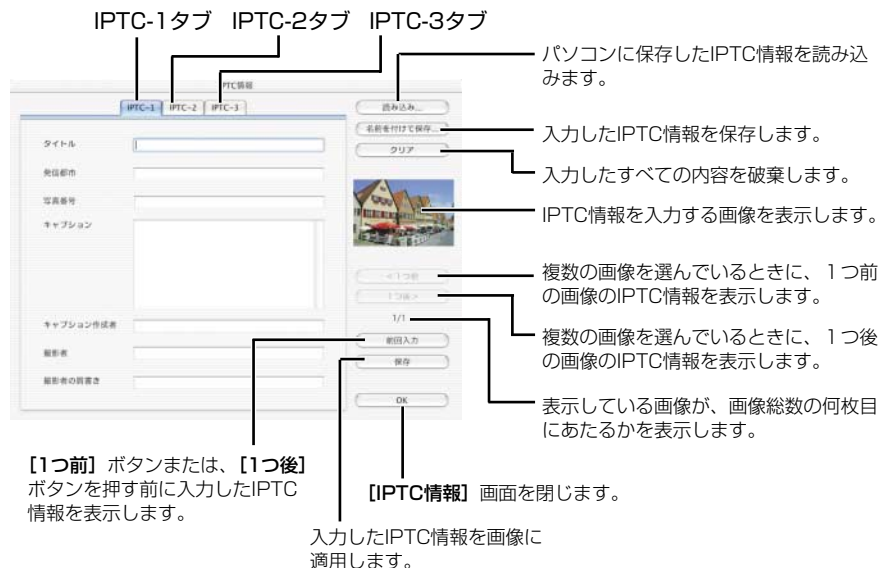
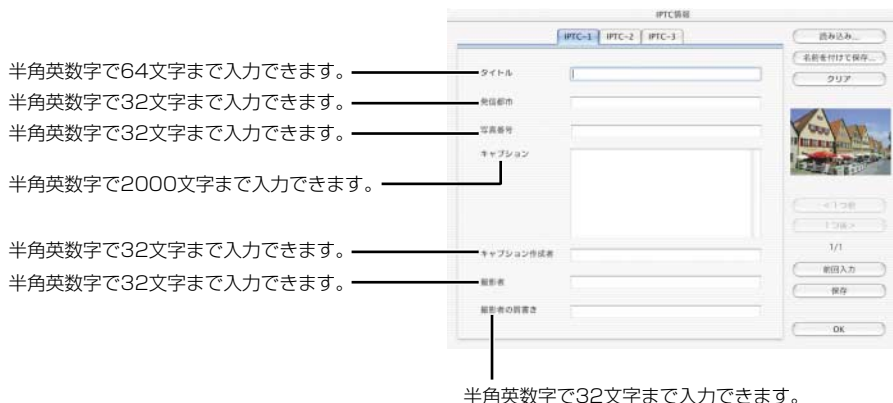
➡ **[IPTC情報]** 画面が閉じます。

パソコンに保存したIPTC情報設定データは、Windows／Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

［IPTC-1］タブ画面設定項目

[IPTC-2] タブ画面設定項目

[IPTC-3] タブ画面設定項目

カメラ設定

所有者名や日付／時刻などをカメラに設定することができます。

1 カメラとパソコンを接続する（M-9）

2 EOS Viewer Utilityを起動する（M-14）

3 ［カメラ設定］ボタンを押す

➡ ［カメラ設定］画面が表示されます。

4 設定をする

- EOS D30では、**［現像パラメーター］**ボタンが表示されます。**［現像パラメーター］**については、カメラに付属のソフトウェア使用説明書を参照してください。

5 ［OK］ボタンを押す

➡ 設定内容がカメラに適用され、**［カメラ設定］**画面を閉じます。

4 トラブルシューティングとソフトウェアの削除

この章では、トラブルシューティングや、ソフトウェアの削除について説明します。

トラブルシューティング

「カメラとパソコンが通信できない」、「ソフトウェアが正しく動作しない」というときは、以下の項目を確認してください。

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとパソコンが通信できない

● 使用しているパソコンは、以下に該当していますか？

→ USB接続部を標準装備したMacintosh（M-2）
※ 標準装備以外のMacintoshで接続を行ったときの動作保証はしていません。

● カメラとパソコンが正しく接続されていますか？

→ 専用ケーブルで、カメラとパソコンを正しく接続してください。（M-9）

● カメラの通信設定は、正しく設定されていますか？

→ EOS 10D、EOS Kiss Digitalをお使いのときは、カメラの通信設定を**［標準］**に設定してください。（M-8）また、EOS 10Dは、ファームウェアをVersion 2.0.0以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

● カメラのバッテリー残量は十分ですか？

→ パソコンからカメラへの電源供給は行われません。カメラに、EOS 10D、EOS Kiss DigitalではACアダプターキット（別売）、EOS D60、EOS D30では付属のDCカプラーを接続するか、充電済みのバッテリーを入れてカメラとパソコンを接続してください。

● 2台以上のカメラをパソコンに接続していませんか？

1台のパソコンに2台以上のカメラを接続すると、ソフトウェアおよびカメラが正しく動作しないことがあります。

→ ソフトウェアを終了してすべての専用ケーブルをパソコンから取り外します。そのあと、1台のカメラだけをパソコンに再度接続してください。

● 初代iMacのファームウェアをアップデートしないで使っていませんか？

iMac Firmware Update（アイマックファームウェアアップデート） でファームウェアをアップデートしてください。

→ iMac Firmware UpdateはApple社のホームページからダウンロードしてください。

ソフトウェアが起動しないまたは、正しく動作しない

- ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている？

→ ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。
すべてのソフトウェアを終了して、**［Preferences］**フォルダ（OS 9では**［初期設定］**フォルダ）から**［Canon CameraCom Pref］**ファイルと使用するソフトウェアのファイルを削除し、ソフトウェアを起動してください。

OS Xを使用しているときは、システムが保存されているハードディスクドライブをダブルクリック ▶ **［ホーム］**ボタンをクリック ▶ **［ライブラリ］**（**［Library］**）フォルダ ▶ **［Preferences］**フォルダの順にダブルクリックして**［Preferences］**フォルダを開き、目的のファイルを削除します。

OS 9を使用しているときは、システムが保存されているハードディスクドライブ ▶ **［システムフォルダ］** ▶ **［初期設定］**フォルダの順にダブルクリックして**［初期設定］**フォルダを開き、目的のファイルを削除します。

・Canon CameraCom Pref	各ソフトウェアが共通に使用する通信用の初期設定ファイル
・CanonEOSViewerUtility Pref	EOS Viewer Utilityの初期設定ファイル

M

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

ここでは、EOS Viewer Utilityを例にしています。他のソフトウェアを削除するときも同様の手順で行います。

- ソフトウェアの削除は、OS X、OS 9とも同様の手順で行います。
- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用ケーブルをパソコンから取り外してください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、**[Finder]** メニューから **[ゴミ箱を空にする]**（OS 9では、**[特別]** メニューから **[ゴミ箱を空に]**）を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- [Canon Utilities] フォルダを開きます。

2 削除したいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上で [Finder] メニュー ▶ [ゴミ箱を空にする] を選ぶ

- OS 9では、**[特別]** メニュー ▶ **[ゴミ箱を空に]** を選びます。

➡ 画像が消去されます。

- ゴミ箱にフォルダを移動して削除するときは、大切な画像をいっしょに削除しないように、十分注意してください。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

索　引

英数字

あ

か

さ

た

は

ま

ら

Canon

キヤノン株式会社　canon.jp
キヤノン販売株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

お客様相談窓口

製品の取り扱い方法、修理サービスのご相談は、機種名をご確認のうえ、お買い上げの販売店または、別紙のサービス窓口にご相談ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。カメラに関する情報を掲載しているコンテンツ等もございますので、インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

キヤノン株式会社／キヤノン販売株式会社
canon.jp/camera

- この使用説明書は、2004年2月に作成したものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、別紙のサービス窓口にお問い合わせください。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 本誌に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、付属のソフトウェアと微小に相違することがあります。

CT1-5180-000

PRINTED IN JAPAN